



AICHI
SCIENCE
FESTIVAL
2012

あいちサイエンスフェスティバル2012

<https://aichi-science.jp/>

2012 9/29(土)～11/4(日)

愛知県全域で開催!

実施報告書

「あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの構築」事業報告書
独立行政法人 科学技術振興機構 (JST)
科学技術コミュニケーション推進事業「ネットワーク形成地域型」

目次 INDEX

目次	2
あいちサイエンスコミュニケーション・ネットワーク	2
あいちサイエンスフェスティバルとは	3
2012年度のネットワーク連携活動	4
ネットワーク中心企画 先端科学技術と社会	5
三河部会	7
さかえサイエンストーク	8
国際航空宇宙展 JAPAN AEROSPACE2012 連携ウィークス	12
ネットワーク機関によるフェス参加企画	13
その他の企画参加団体によるフェス参加企画	29
全国サイエンスフェスティバル交流企画	30
プレ企画とポスト企画	31
「国際植物の日」月間	32
「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」展連携企画	34
ロゴ/広報/メディア掲載情報	35
あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー	36
サイエンスカフェの開催支援	37
次年度の連携活動スケジュール	38
謝辞/収支報告/ネットワーク委員会日程	39
ネットワーク関係者一覧	40

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク



名古屋大学は 2011 年度より、独立行政法人科学技術振興機構（JST）の科学技術コミュニケーション推進事業「ネットワーク形成地域型」を受け、「あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク」の構築を進めています。愛知県内の高等教育研究機関、科学館、科学系博物館、社会教育施設が参加。サイエンスコミュニケーション連携を推進し、サイエンスイベント情報をウェブで発信しています。現時点では左の 15 機関が参加しています。

「JST ネットワーク形成地域型」の支援を受け、愛知県で 2011 年からスタートした秋のサイエンスイベント月間。トップサイエンティストによる週例メインイベント「先端科学技術と社会」と、名古屋の中心街・栄で平日に毎夜開催した気軽な対話型イベント「さかえサイエンストーク」の二つを中心企画として名古屋大学が開催しました。その上で、県内 15 機関で形成している「あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク」の参加機関によるサイエンスイベントが集合。さらに、ウェブサイトから様々な企画参加団体によるサイエンスイベントを登録していただきました。

あいちサイエンスフェスティバル 2012

会 期：2012 年 9 月 29 日（土）～2012 年 11 月 4 日（日）

会 場：愛知県全域

主 催：国立大学法人名古屋大学

共 催：愛知県、中日新聞社、蒲郡市生命の海科学館

後 援：（一社）日本航空宇宙工業会、中部国際空港（株）、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、蒲郡市教育委員会、豊橋市教育委員会、（独）科学技術振興機構、全国科学博物館協議会

来場者数 68,616 人

企画参加団体数 30

サイエンスイベント数 136

(2013. 3. 4 現在集計値)

開催目的

ひろく愛知県内で、
サイエンスへの興味と関心を喚起し、
人々の交流と議論の場を生み出す。

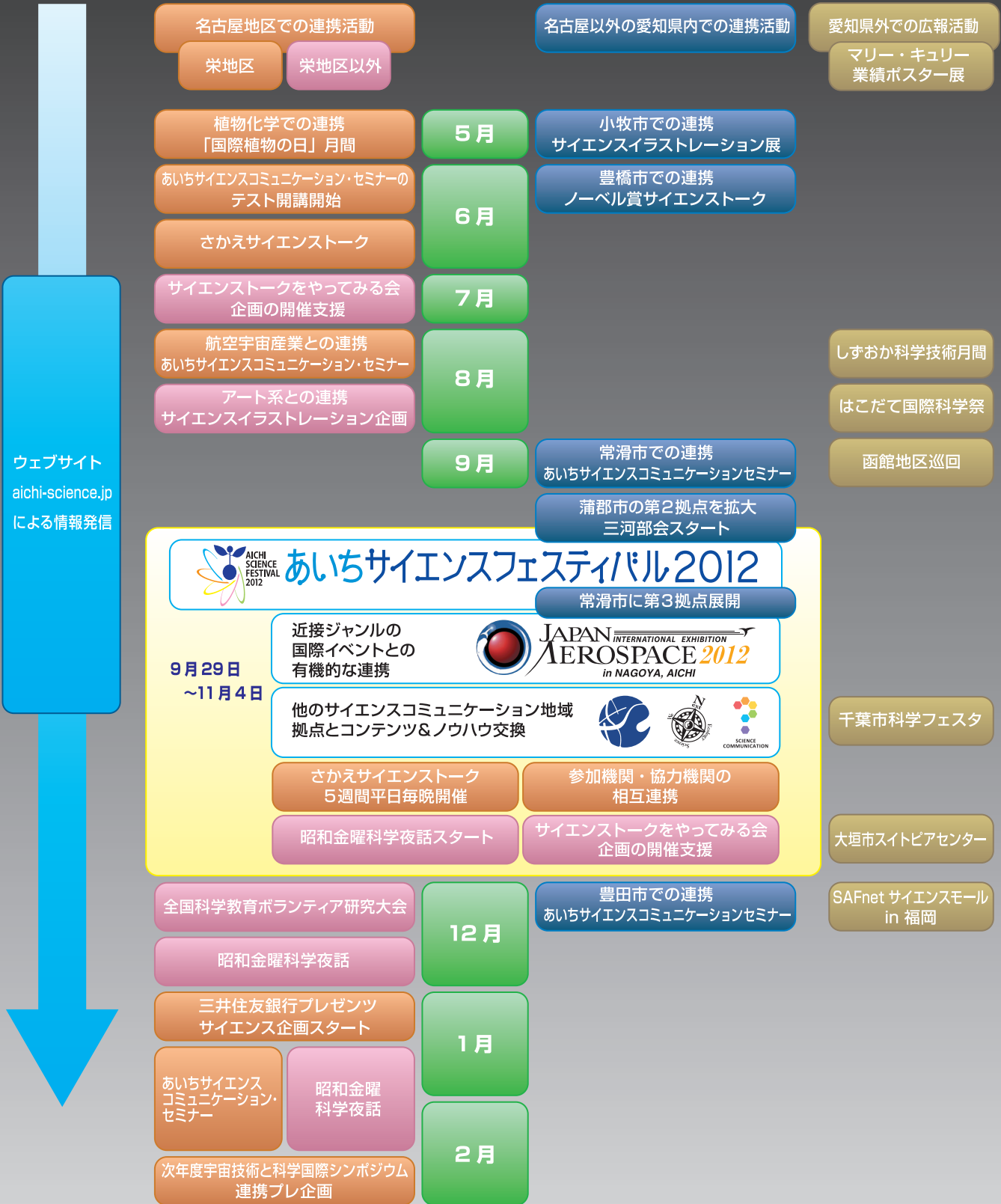


2012年度のネットワーク連携活動

JST 科学技術コミュニケーション推進事業「ネットワーク形成地域型」(あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの構築)による3ヶ年度の全体計画にもとづき、次の4つの活動を推進しています。

- ① ネットワーク構築と情報収集・発信拠点の設立
- ② サイエンス・コミュニケーターの育成
- ③ サイエンスコミュニケーションの場と仕組みの提供
- ④ ロングテール型サイエンスコミュニケーションモデルの開発

第2年度の2012年度は下図のとおり連携活動を実施しました。



ネットワーク中心企画

市民向け講演会 / JA2012 対話イベント / 市民向けシンポジウム

先端科学技術と社会

私達の生活に密着するようになった科学技術。日本を代表する研究者が、社会と科学技術の関わりについてお話する、毎週土曜午後のあいちサイエンスフェスティバル 2012 メインイベントです。科学技術の現状や課題について、参加者の意見も聞きながら進めました。この中心企画はビデオアーカイブをウェブ上で公開しています（10月20日を除く）。

※10月13日（土）は「航空技術と社会」のタイトルで実施しました。



在名古屋の三菱航空機からMRJ開発と営業のトップがそろって登場

国産ジェット旅客機MRJを世界の空へ!

開催日時：2012年9月29日（土）14:00-16:00

開催場所：三井住友銀行 SMBC パーク 栄（名古屋市中区錦3丁目25-20）

講師：岸信夫氏（三菱航空機（株）チーフエンジニア）

：岩佐一志氏（三菱航空機（株）営業部長）

あいちサイエンスフェスティバル開幕宣言

：松尾清一氏（名古屋大学副総長・産学官連携推進本部長・教授）

司会：藤吉隆雄氏（名古屋大学 産学官連携推進本部 特任助教）

あいちサイエンスフェスティバル2012のグランドオープニングとして、市民向け講演会「先端科学技術と社会」第1週を開催。名古屋大学副総長の松尾清一氏がフェス全体の開幕を宣言したのち、国際航空宇宙展 JAPAN AEROSPACE2012 連携オープニング企画を実施しました。50年ぶりとなる日本製の民間旅客機 MRJ を開発している在名古屋の三菱航空機（株）からお二人が講演。営業部長の岩佐一志氏が世界の航空産業の動向とMRJのコンセプトを紹介し、開発トップのチーフエンジニア岸信夫氏がMRJの概要と開発状況を解説しました。<https://aichi-science.jp/499>



フェス開催責任者の松尾名大副総長が開幕宣言



東レの鈴井伸夫副社長は名大卒。参加者には小学校の同級生の姿も

素材は社会を変える：航空機材料から水不足解消まで

開催日時：2012年10月6日（土）14:00-16:00

開催場所：三井住友銀行 SMBC パーク 栄（名古屋市中区錦3丁目25-20）

講師：鈴井伸夫氏（東レ（株）代表取締役副社長）

挨拶：川上昭吾氏（蒲郡市生命の海科学館長）

司会：戸次真一郎氏（名古屋大学 リサーチ・アドミニストレーション室
リサーチ・アドミニストレーター）

JA2012 連携ウィークスのオープニング企画として、東レ（株）代表取締役副社長の鈴井伸夫氏が講演しました。ファッションのみならず、水処理など様々な分野で使われている繊維材料について詳しく解説。ボーイング787に使われているカーボンファイバーは東レが世界で圧倒的シェアを占めているなど、航空宇宙分野にも繊維工業が重要な役割を演じていることが紹介されました。講演後には現物サンプルを受講者が体験できる時間ももうけられ、個々の製品について東レの方々詳細に説明しました。

<https://aichi-science.jp/511>



挨拶の川上氏（左）も東レの各種素材を体験



鋭い質問にブルーインパルスのパイロットが顔を合わせるシーンも

あいちサイエンスフェスティバル 2012 における JAPAN AEROSPACE2012 連携メイン企画として航空機開発者、操縦者と市民の対話イベントを開催。JA2012 でも展示飛行する航空自衛隊ブルーインパルスが使う純国産のT4型航空機について語り合いました。第1部でブルーインパルスの活動の裏側を紹介するビデオを視聴したのち、第2部では川崎重工業 T4 開発チーム出身の吉田氏が裏話を含めた開発ストーリーを披露。第3部ではブルーインパルスのパイロット2名も加わり、T4 航空機とブルーインパルスに関する会場からの質問に答えました。https://aichi-science.jp/535

JAPAN AEROSPACE2012 対話イベント 航空技術と社会～ニッポンの飛行機 川崎T4とブルーインパルス～

開催日時：2012年10月13日(土) 15:30～18:00
 開催場所：中部国際空港 セントレアホール(常滑市セントレア1丁目)
 講師：吉田茂氏(川崎重工業株式会社 航空宇宙カンパニー サブチーフデザイナー)
 ゲスト：平岡勝氏、奥山敬仁氏(航空自衛隊 第4航空団 第11飛行隊ブルーインパルス・パイロット)
 挨拶：加藤丈雄氏(愛知県産業労働部 技監)、鈴木實氏(中部国際空港株式会社 執行役員)、
 秦茂義氏(一般社団法人日本航空宇宙工業会 常務理事)
 司会：藤吉隆雄氏(名古屋大学 産学官連携推進本部 特任助教)



JA2012 ではブルーインパルスがデモフライト



外村氏を偲び講演者全員で先端科学技術と社会の関係を熱く議論

ノーベル賞候補といわれながら5月に急逝された外山彰氏を追悼するシンポジウムを開催しました。同氏は名古屋大学で工学博士を取得したため名古屋大学ホームカミングデー企画として実施。外山プロジェクト出身である名古屋大学の丹司敬義氏のコーディネーターで、ゆかりの深いホログラフィー電子顕微鏡関連のトップ研究者が集合。日立中研の原田研氏が故人の業績を紹介し、ファインセラミックセンターの平山司氏、東北大の進藤大輔氏が最新成果について講演しました。最後に登壇者全員で研究の推進と社会への還元について議論しました。https://aichi-science.jp/533

マイクロ・ナノの電磁場を見せた外村彰を偲ぶ

開催日時：2012年10月20日(土) 14:30-17:30
 開催場所：名古屋大学 ES ホール(名古屋市千種区不老町)
 追悼講演：原田研氏(日立中央研究所)、進藤大輔氏(東北大学多元物質科学研究所教授)
 ：平山司氏(ファインセラミックセンター ナノ構造研究所副所長)
 コーディネート・司会：丹司敬義氏(名古屋大学エコトピア科学研究所教授)
 挨拶：松岡敬二氏(豊橋市自然史博物館 館長)



海外でも高く評価されている外村氏の業績を紹介



コメ型ワクチンが災害復興にも活用できると紹介する清野氏

腸管免疫の第一人者である清野氏が免疫の仕組みとコメ型ワクチンへの道を紹介しました。シチリア戦争でペスト免疫を獲得したシラクサ防衛隊が勝利した逸話から始まり、腸内にあるパイエル板に関する最新研究までを詳しく解説。そのうえで、清野氏自身が開発を進めるコメ型ワクチンのしくみを説明へ進みました。口から摂取するワクチンならば粘膜と全身の両方の免疫を誘導するため効果アップになるほか、農業で生産でき常温で長期保存可能であるので世界的な感染症対策に有益とそのビジョンを語りました。https://aichi-science.jp/529

未知との遭遇：腸という最大の免疫システム

開催日時：2012年10月27日(土) 14:00-16:00
 開催場所：三井住友銀行 SMBC パーク 栄(名古屋市中区錦3丁目25-20)
 講師：清野宏氏(東京大学医科学研究所 所長・教授)
 司会：武田穰氏(名古屋大学 産学官連携推進本部 連携推進部長・教授)



フェス運営責任者の武田穰氏がみずから司会に

X線で見える宇宙の新しい姿

開催日時：2012年11月3日(土) 14:00-16:00
 開催場所：三井住友銀行 SMBC パーク 栄 (名古屋市中区錦3丁目25-20)
 講師：國枝秀世氏 (名古屋大学 副総長・教授)
 挨拶：安田孝志氏 (愛知工科大学 学長)
 司会：藤吉隆雄氏 (名古屋大学 産学官連携推進本部 特任助教)



名大の國枝副総長が愛知県内の航空宇宙工学連携でフェスを締める

フェス最終週の市民向け講演会はJA2012連携クロージング企画を兼ねて開催。ネットワークに新加入した愛知工科大学の安田学長の冒頭あいさつに続き、名古屋大学の國枝副総長がX線天文学について講演しました。広い意味での天文学の歴史から、愛知県での航空宇宙産業とアカデミアの連携、再来年度に打ち上げに向けて完成したばかりのASTRO-H衛星用のX線望遠鏡まで幅広い話題を紹介しました。

<https://aichi-science.jp/531>



愛知工科大の安田学長がネットワーク推進を表明

ネットワークの新たな展開を目指す

三河部会

名古屋市を中心とした尾張地区だけではなく、三河地区でも連携活動を推進するためにネットワークの三河部会がスタート。9月26日に三河部会運営委員会を開催しました。その後、2011年にフェスがスタートした時から第2拠点として積極活動している蒲郡市生命の海科学館を会場に部会の連携企画をスタート。昨年同様、名古屋開催の市民向け講演会の映像を受信するサテライト中継会場を2回設置したほか、10月8日(月・祝)には三河部会キックオフ企画を開催。愛知県全域でのネットワーク連携とフェス推進へ向かっています。

三河部会キックオフ企画 キュレーター円卓会議 —アート・サイエンス・ミュージアムが連携することでうまれる未来—

開催日時：2012年10月8日(月) 14:00-16:00
 開催場所：蒲郡市生命の海科学館
 コーディネーター：杉森順子氏 (愛知工科大学准教授)
 パネリスト：以倉新氏 (静岡県美術館学芸課長)、
 尾坂知江子氏 (名古屋市科学館主任学芸員)、
 唐津絵理氏 (愛知芸術文化センター主任学芸員)、
 杉浦健氏 (おかざき世界子ども美術博物館学芸担当主任主査)、
 長谷川道明氏 (豊橋市自然史博物館学芸専門員)、
 山中敦子氏 (蒲郡市生命の海科学館 学芸員)



三河を中心に名古屋と静岡の学芸員が集合

ネットワーク機関から3名、県内の近隣分野から2名、静岡県から1名の学芸員が集まり、ミュージアムが抱える問題点を切り口に、地域におけるミュージアムと社会の関わりを議論しました。愛知工科大の杉森准教授の司会で、博物館の連携のあり方、展望などの意見交換を行いました。

※あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー講義C指定
<https://aichi-science.jp/525>

市民向け講演会「先端科学技術と社会」蒲郡サテライト中継会場 「～国産ジェット旅客機 MRJ を世界の空へ～」

開催日時：2012年9月29日(土) 13:45-16:30
 開催場所：蒲郡市生命の海科学館
 サテライトゲスト：佐倉潔氏 (三菱航空機(株) 主幹技師)



三菱航空機の佐倉氏が蒲郡でも質疑応答

名古屋の講演会映像を視聴のち、三菱航空機(株)主幹技師の佐倉潔氏が、国産ジェット旅客機MRJの最先端技術について深く掘り下げ解説しました。

<https://aichi-science.jp/610>

市民向け講演会「先端科学技術と社会」蒲郡サテライト中継会場 「～素材は社会を変える：航空機材料から水不足解消まで～」

開催日時：2012年10月6日(土) 13:45-16:30
 開催場所：蒲郡市生命の海科学館
 サテライトゲスト：宇津巻竜也氏 (JAXA 宇宙教育センター主任)



宇宙教育テレビでもおなじみグルグル博士

名古屋の講演会映像を視聴のち、JAXA宇宙教育センター主任の宇津巻竜也氏がサテライト解説。航空機材料などのさまざまな分野の素材の発展を説明しました。

<https://aichi-science.jp/612>

SAKAE Science Talk

さかえサイエンストーク

科学技術をはじめ、ものづくりやカルチャーまで、広くサイエンスの話題を取り上げた専門家との交流イベント。あいちサイエンスフェスティバルの期間中、平日に毎夜開催しました。舞台は、名古屋の中心栄地区にあるイベントスペースと書店。各分野の若手から中堅を中心としたゲストが集合。参加者とのトークに花を咲かせました。双方向コミュニケーションに電子投票機を利用するなどの試みも行なっています。

【開催場所】

名古屋テレビ塔スカイデッキ

名古屋市中区錦 3-6-15

三井住友銀行 SMBC パーク栄

愛知県名古屋市中区錦 3-25-20

ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパーク 7F

【各回共通事項】

◎開催時間 18:30-20:00

(18:00 開場、途中入退場可)

◎当日先着 30 名程度

◎参加

無料 (ただし名古屋テレビ塔会場のみスカイデッキ入場料が必要。フェス割引あり)

【週わりテーマ】

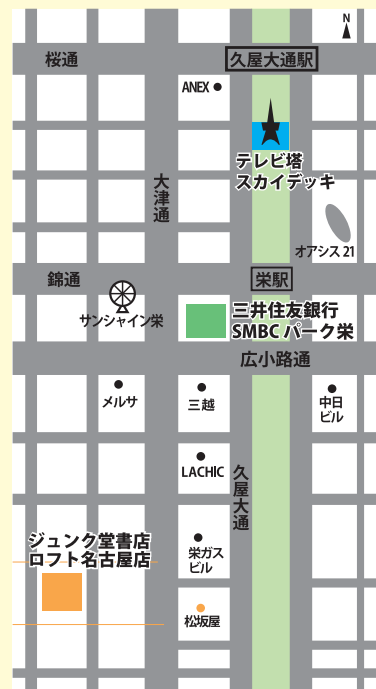
10/ 1~10/ 5 化学・環境ウィーク

10/ 8~10/12 航空宇宙工学ウィーク

10/15~10/19 物理・天文ウィーク

10/22~10/26 パイオ・食品ウィーク

10/29~11/ 2 パイオ・情報・ITウィーク



2012年10月1日(月)

三井住友銀行 SMBC パーク栄

<https://aichi-science.jp/539>

“大きな技術”で小さな生体分子を視る・操る

ゲスト：加地範匡氏 (名古屋大学 大学院 工学研究科 准教授)

ファシリテーター：村松哲二氏 (浜島書店 編集部長、あいちSCセミナー受講)



加地氏らのチームが開発するDNA一分子で配列を調べるナノバイオ・デバイスを紹介。センサー部品の現物を参加者それぞれが手にとって観察し、その微細加工のテクノロジーを確認しました。また、多様なファシリテーターによるさかえサイエンストーク展開の初回として理科教材会社の編集部長が司会に挑戦しました。



2012年10月3日(水)

名古屋テレビ塔スカイデッキ

<https://aichi-science.jp/543>

自然に学ぶものづくり ~カタツムリと住宅材料~

ゲスト：井須紀文氏 (株式会社LIXIL 水まわり総合技術研究所 IBA推進室 室長)

ファシリテーター：長谷川道明氏 (豊橋市自然史博物館 学芸専門員)



常滑に本社機能を置くLIXILの井須氏が昆虫の生態や土に学ぶ省エネ住宅の材料設計についてのトークを展開。カタツムリの殻はなぜ汚れないのかなど、身近な不思議と研究の関係を紹介しました。ファシリテーターは豊橋市自然史博物館の長谷川氏が務め、昆虫分類学が専門ならではの進行で会場を沸かせました。



2012年10月2日(火)

名古屋テレビ塔スカイデッキ

<https://aichi-science.jp/541>

伝統構法による大規模木造建築の復元

ゲスト：外館寛氏, 増田隆行氏 (株式会社間組 建築事業本部 技術部)

ファシリテーター：戸次真一郎氏 (名古屋大学 リサーチ・アドミニストレーション室 URA)



名古屋城本丸御殿の復元工事を施工する間組の専門家が登場。名古屋城を遠望する会場で、城郭建築を中心とした伝統構法による大規模木造建築の復元の実態を紹介。古写真をもとに描き起こす図面などの準備段階から実際の施工時や検査時の技術まで、日本独自の文化を復元するためのノウハウを豊富な実例をもとに解説しました。



2012年10月4日(木)

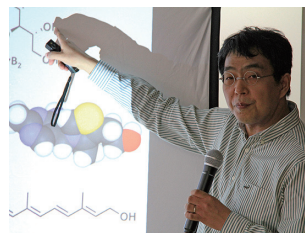
ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/545>

鏡の国のサイエンス~アリスが見た分子の左右~

ゲスト：石原一彰氏 (名古屋大学 大学院 工学研究科 教授)

ファシリテーター：戸次真一郎氏 (名古屋大学 リサーチ・アドミニストレーション室 URA)



右手型、左手型の分子のつくりわけの化学を紹介しました。ルイス・キャロルの「鏡の国のアリス」を紐といてトークを準備。印象的なエピソードに化学現象をなぞらえ、新聞で紹介された最新研究を説明しました。右手型、左手型で匂いが違う物質サンプルを参加者で体験し、五感で体験するサイエンストークとなりました。



2012年10月5日(金) ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/547>

眼鏡レンズの最先端技術

ゲスト：獅野裕一氏（東海光学株式会社 開発本部 副主席）
ファシリテーター：朝日宏和氏（ベチャクチャないと名古屋 代表、あいちSCセミナー受講）



眼鏡に活用されている最新テクノロジーを紹介。光学材料の特性から、工作、着色、薄膜などの技術へとトークは展開。眼鏡を通した見えや快適性について脳波を測定してセッティングする研究まで、身近な眼鏡のすべてを解説しました。現物サンプルを回覧して確認するなど、素朴な疑問を丁寧にあつかうトークとなりました。



2012年10月11日(木) ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/549>

50年後の飛行機・ロケットを語ろう

ゲスト：佐宗章弘氏（名古屋大学 大学院 工学研究科 航空宇宙工学専攻 教授）
ファシリテーター：笹原悟氏（サイエンス・サポート函館 科学楽しみ隊/はこだて国際科学祭）



近未来に実現を目指している飛行機技術とロケット技術を紹介しました。レーザー推進、進行方向に対するエネルギー使用による推進の効率化、真空チューブによるロケット射出など、3つのテーマが準備されていたものの、一つ目のテーマでほとんど時間切れになるほどトークの途中で質問が続出して盛り上がりました。



2012年10月9日(火)

名古屋テレビ塔スカイデッキ

<https://aichi-science.jp/567>

JAXAの次世代航空機技術と中部で飛ぶ実験機「飛翔」

ゲスト：柳原正明氏（宇宙航空研究開発機構 研究開発本部 飛行技術研究センター長/名古屋空港飛行研究拠点長）
ファシリテーター：藤吉隆雄氏（名古屋大学 産学官連携推進本部 特任助教）



小牧市の県営名古屋空港に新設された JAXA の新拠点の責任者である柳原氏みずからが登場しました。飛行機や搭載する機器を開発するしくみと法的規制について紹介。日本の航空宇宙産業の新たな展開を担うために愛知県に配置したジェット実験機「飛翔」と搭載している検査システムを詳しく解説しました。



2012年10月12日(金) ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/551>

研究開発からみた航空の未来

"The Future of Aviation - Leading the way through Research & Development"

ゲスト：トーマス・アーバイン氏（アメリカ航空宇宙局 飛行研究ミッション准統括官補）
ファシリテーター：藤吉隆雄氏（名古屋大学 産学官連携推進本部 特任助教）



在名古屋アメリカ領事館/名古屋アメリカンセンターの協力により、国際航空宇宙展 JA2012 に来日している NASA の研究マネージャーが登場。NASAの歴史と組織構成、取り組んでいる主な研究プロジェクトを紹介。特にアーバイン氏が担当する飛行機関連の研究プロジェクトについて、近未来計画も含めて説明しました。



2012年10月10日(水)

名古屋テレビ塔スカイデッキ

<https://aichi-science.jp/565>

日本発の水陸両用救難飛行艇 US-2

ゲスト：望田秀之氏（新明和工業株式会社 航空機事業部 技術部総括課 課長）
ファシリテーター：藤吉隆雄氏（名古屋大学 産学官連携推進本部 特任助教）



海洋国である日本が誇る水陸両用救難飛行艇 US-2 について紹介しました。戦前から続く我が国での水陸両用飛行艇の開発史からスタート。世界各社の飛行艇を紹介し、外洋での離着水能力は世界最高である事実などを紹介。発展型として US-2 を消防飛行艇に改造開発する計画なども解説しました。



2012年10月15日(月)

三井住友銀行 SMBC パーク栄

<https://aichi-science.jp/581>

しんかい 6500 でゆく海底資源探査の旅

ゲスト：後藤忠徳氏（京都大学 大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 准教授）
ファシリテーター：山中敦子氏（蒲都市生命の海科学館 学芸員）



海底資源探査について詳しく解説しました。鉱物資源などの需要を概観し探査の必要性を説明。自身のしんかい 6500 搭乗体験をもとにその機体とミッションのシステムをくわしく話してくれました。後半には準備されたトピックから参加者が選ぶ形で話を展開するなど、時間一杯まで楽しめるトークになりました。



2012年10月16日(火)

名古屋テレビ塔スカイデッキ

<https://aichi-science.jp/571>

世界一のプラネタリウムをつくる

ゲスト：野田学氏（名古屋市科学館 学芸課 天文係長）
 ファシリテーター：近藤裕史氏（名古屋大学医学部 GCOE 特任助教、
 あいちSCセミナー受講）



2011年のリニューアルにより世界最大サイズとなった名古屋市科学館のプラネタリウムについて、設計段階から実際の運用までを統括している野田氏が全貌を紹介。プラネタリウムの仕組みだけでなく、教育効果を重視した設計コンセプトや映像や教育などの品質などでも世界一を目指す運用についても詳しく解説してくれました。



2012年10月19日(金)

ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/555>

屋久杉が語る奈良時代の宇宙線強度～急激な増加の謎～

ゲスト：三宅美沙氏（名古屋大学 太陽地球環境研究所学振特別研究員）
 ファシリテーター：内藤博之氏（名古屋大学 GCOE 「宇宙基礎原理の探求」 広報担当研究員）



新聞で大きく取り上げられた研究成果について本人が初めて一般向けに紹介しました。屋久杉を年輪ごとに細かく削り取って炭素14濃度を測定し、奈良時代に宇宙線の強度が急激に増加していた事実を発見。地道な作業プロセスとその結果、他の研究チームの別の樹木による研究成果との対照などをわかりやすく説明しました。



2012年10月17日(水)

名古屋テレビ塔スカイデッキ

<https://aichi-science.jp/569>

宇宙のかけらを見てみよう～多様体という考え方～

ゲスト：長郷文和氏（名城大学 理工学部 准教授）
 ファシリテーター：谷口正明氏（名城大学 総合数理教育センター 准教授）



サイエンスカフェでは取り上げにくい数学のテーマに名城大コンビがチャレンジしました。宇宙のかけらをキーワードに多様体の理論に入門。2次元と3次元の関係と、3次元と4次元の関係を比べて説明。3次元のかけらで4次元空間を覆いつくせることなどを説明し、数学の理論が直感的にわかるトークとなりました。



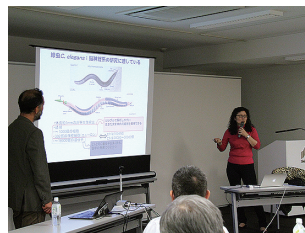
2012年10月22日(月)

三井住友銀行 SMBC パーク栄

<https://aichi-science.jp/583>

小さな生き物が教えてくれる脳のしくみ

ゲスト：森郁恵氏（名古屋大学 大学院 理学研究科 教授）
 ファシリテーター：藤吉隆雄氏（名古屋大学 産学官連携推進本部 特任助教）



脳プロを代表して名古屋大の森氏が登場。全長1ミリの線虫を用いた脳のメカニズムの研究を紹介しました。線虫が温度を記憶する仕組みについての最新研究成果として、細胞そのものが温度を記憶している可能性が示唆されたと解説。今までの常識が覆るかもしれない最先端の研究に参加者一同で接しました。



2012年10月18日(木)

ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/553>

気体がバラバラになったプラズマの世界

ゲスト：高島成剛氏（公益財団法人名古屋産業振興公社プラズマ技術産業応用センター・チーフテクニカルコーディネーター）
 ファシリテーター：戸次真一郎氏（名古屋大学 リサーチ・アドミニストレーション室 URA）



気体より高温の状態では分子がバラバラになっているプラズマを紹介。熱いプラズマと冷たいプラズマなどの説明のほか、プラズマで接着した強度を実感する簡単実験も実施。名古屋大学にいち早く空電研究所（現・太陽地球環境研究所）が設置された歴史を紐解き、プラズマ研究先進地域である名古屋の産業振興をアピールしました。



2012年10月23日(火)

名古屋テレビ塔スカイデッキ

<https://aichi-science.jp/557>

植物とバクテリアが共生する仕組み

ゲスト：寿崎拓哉氏（基礎生物学研究所 共生システム研究部門 助教）
 ファシリテーター：大住克史氏（名古屋大学 リサーチ・アドミニストレーション室 URA）



マメ科植物が土壌中に棲む根粒菌と共生関係を築くために根につくる根粒という器官について詳しく解説。研究に使っているミヤクソグサそのものも参加者と観察しました。参加者の多くにとって、植物の根が膨らんでいる状況はなじみがあったようで、共生メカニズムへの質問が続出しました。



2012年10月24日(水)

名古屋テレビ塔スカイデッキ

<https://aichi-science.jp/573>

名古屋コーチン～その改良の歩みと特徴～

ゲスト：木野勝敏氏（愛知県畜産総合センター種鶏場 種鶏課長）
ファシリテーター：武野彰氏（名古屋大学 産学官連携推進本部 連携推進部 産学官連携コーディネーター）



小牧市で生み出された事実があまり知られていない名古屋コーチンについてのトークを開催。愛知県による名古屋コーチンの種鶏供給について、種の開発の歴史から語り起しました。名古屋コーチンの肉や卵の品質も解説。小牧市商工会議所の提供により、名古屋コーチンパイの試食も行いました。



2012年10月29日(月)

三井住友銀行 SMBC パーク栄

<https://aichi-science.jp/585>

謝罪では腹の虫はおさまらず～怒りの心理学～

ゲスト：久保賢太氏（JST ERATO 岡ノ谷情動情報プロジェクト 研究員）
ファシリテーター：藤田剛氏（JST ERATO 岡ノ谷情動情報プロジェクト 技術参与）



OEIPから2年連続でゲストに登場。誰もが持つ怒りに対する謝罪の効果についての研究成果を久保氏が紹介しました。謝罪により攻撃衝動はおさまるが不快感は軽減しないとの結果を詳しく解説。ファシリテーターは技術参事の藤田氏みずからが担当し、研究倫理の観点等について積極的に補足説明をしてくれました。



2012年10月25日(木)

ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/605>

自転周期が24時間の星の生き物～体内時計の賢い調節～

ゲスト：沼野利佳氏（豊橋技術科学大学 エレクトロニクス先端融合研究所 テンユアトラック特任准教授）
ファシリテーター：大住克史氏（名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室URA）



脳交叉上核（SCN）が哺乳類の概日リズムを支配する仕組みを説明しました。沼野氏らはマウス研究で目が光を受けると時計遺伝子 period1 の発現リズムリセットの事実を発見。さらに、身体の末梢の細胞は時差の克服能力が低く、1日で時差を克服する SCN が概日リズムを支配すると明らかにした研究を解説しました。



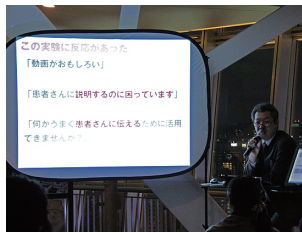
2012年10月30日(火)

名古屋テレビ塔スカイデッキ

<https://aichi-science.jp/577>

患者さんにやさしいデザインをめざして

ゲスト：渡邊敏之氏（名古屋造形大学 造形学部造形学科デジタルメディアデザインコース 教授）
ファシリテーター：足立ゆうじ氏（名古屋造形大学イラストレーションデザインコース 専任講師）



渡辺氏が国立がんセンターと協働して開発しているインフォームドコンセントのシステムを紹介しました。デザインとは何かからトークを開始。医師が患者に説明する時にわかりやすくアシストするために、シンボリックに簡略化してイラストを作成する工夫を説明。実際の臨床現場を含めて活用を進めている実例を解説しました。



2012年10月26日(金)

ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

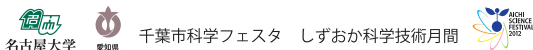
<https://aichi-science.jp/559>

ロボットテクノロジーによる移動を考える

ゲスト：中嶋秀朗氏（千葉工業大学 未来ロボティクス学科 准教授 / 千葉市科学フェスタ）
ファシリテーター：木南友希氏（静岡科学館 / しずおか科学技術月間）



しずおか科学技術月間からのファシリテーターの司会で、千葉市科学フェスタからのゲストがロボットの開発思想と実例を紹介。中嶋氏が製作した脚車輪ロボット「ちゃりべえ」は愛・地球博でも展示実演されたもので、参加者にも親近感が湧いたようです。愛知県での交流企画は大変に意義深いものになりました。



2012年10月31日(水)

名古屋テレビ塔スカイデッキ

<https://aichi-science.jp/579>

数式をアートする！～工学+アート=メディアアート～

ゲスト：杉森順子氏（愛知工科大学工学部情報メディア学科准教授）
ファシリテーター：山中敦子氏（蒲郡市生命の海科学館 学芸員）



フェス第2拠点の蒲郡地区からゲストとファシリテーターが登場。杉森氏が開発したメディアアートの体験システムを紹介しました。サイエンスとアートの思考の違いに架け橋ができるように開発されたプログラムを用い、数式の係数を入力すると描かれる図形が変化する様子を実演。参加者が実際にシステムの体験も行いました。



さかえサイエンストーク / 国際航空宇宙展 JAPAN AEROSPACE2012 連携ウィークス

2012年11月1日(木) ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/575>

おいしいお米の品種開発と低コスト栽培技術

ゲスト：中嶋泰則 (愛知県農業総合試験場 作物研究部 作物研究室 研究室長)
 ファシリテーター：小笠原有美 (名古屋大学情報文化学部・学生、あいちSCセミナー受講)



愛知県が推進するお米の品種開発のしくみと低コスト栽培技術の開発を紹介しました。味が良いお米を目指すのではなく、稲をわざと病気にする技術を活用し強い品種を選ぶとの説明に驚きの声が続出。稲の直播きが普及しない原因であった鳥害を解決する新型機器については購入方法まで質問が出るほど注目を集めました。



2012年11月2日(金) ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/563>

あなたのスマホは大丈夫? ~スマホのセキュリティ~

ゲスト：渡邊裕司氏 (名古屋市立大学 システム自然科学研究科 准教授)
 ファシリテーター：森優輝氏 (サイエンストークをやってみる会、愛知淑徳大学・学生)



渡邊氏が近年に研究開始したスマートフォンの情報セキュリティについて紹介。セキュリティ技術の基礎を紹介したのち、タッチ画面の操作の癖で本人認証する研究を解説しました。研究を始めたばかりということもあり、参加者から研究の方向性への指摘が続出し、あたかも会議のようなサイエンストークになりました。



国際航空宇宙展 JAPAN AEROSPACE2012 連携ウィークス

10月6日(土)~11月19日(金) およびプレ企画・クロージング企画 (JA開催10月9日(火)~10月14日(日))

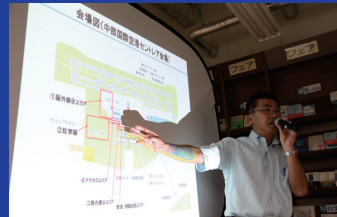


あいちサイエンスフェスティバル 2012 (ASF2012) は、29年ぶりに飛行場開催のうえ愛知県のポートメッセなごやと中部国際空港セントレアが会場となる「国際航空宇宙展 JAPAN AEROSPACE2012 (JA2012)」のパートナーシップ事業として開催しました。2011年9月開催のさかえサイエンストーク「世界の航空宇宙ショー」から連携を開始。双方のウェブサイトにバナーを掲載し相互リンクしたほか、広報フライヤー等にも情報を掲載しています。

本格連携の本年度は、あいちサイエンスコミュニケーション・セミナーで JA2012 関連講義を 2 コマ実施。主催者の日本航空宇宙工業会から宮修一国際部長が講義したほか、セントレアの滑走路地区にバスで向かって JA2012 会場をいち早く体験する見学会を開講しました。



10月13、14の両日、JA2012 セントレア会場でブルーインパルス 6 機がアクロバット飛行を披露。背面飛行から始めるショーで関係者を驚かせた



8月21日のセミナー「国際航空宇宙ショーが愛知県にやってくる!」では主催者ならではの詳しい JA2012 解説を展開



9月22日「セミナー「国際空港を探検する!」ではセントレアの滑走路付近で B747 着陸の迫力を体験

あいちサイエンスフェスティバルでは、10月6日(土)から10月19日(金)を連携ウィークスと位置づけ全面展開。9月29日(土)フェス開幕講演会は連携プレ企画として三菱航空機(株)から岸信夫 MRJ チーフエンジニアと岩佐一志営業部長、10月6日(土)講演会は連携オープニング企画として東レ(株)鈴井伸夫代表取締役副社長を講師として迎えて日本の航空宇宙産業を展望しました。ウィークス期間中は、多くの参加企画が JA2012 ロゴのもとに集合。さかえサイエンストーク、名大カフェ、蒲郡市生命の海科学館サイエンス・ラボ「アノマロ宇宙へ行く!」、航空宇宙シンポジウム、JAXA 航空シンポジウムが連携企画として実施されました。

JA2012 パブリックデーには中部国際空港内のセントレアホールで連携メインイベントを開催。航空自衛隊ブルーインパルスのパイロット平岡勝氏・奥山敬仁氏および同チームの使用機 T4 の開発チーム出身の吉田茂氏(川崎重工)が登場する対話イベントが登場しました。11月4日(土)のフェス最終週講演会は連携クロージング企画として開催。名古屋大学の國枝秀世副総長が JA2012 連携を総括しました。

JA2012 連携ウィークスは読売新聞中部支社が後援して ASF2012-JA2012 連携フライヤーも作成。本報告書では JA2012 連携企画に公式ロゴが標示されています(あいちサイエンスコミュニケーション・セミナーの 2 コマは本ページに掲載)。

ネットワーク機関によるフェス参加企画



あいちサイエンスフェスティバルは、あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの連携活動として開催しています。ネットワーク 15 実施機関が主催または関与するサイエンスイベントが参加企画として集合し、愛知県全域で展開。フェス主催の名古屋大学も、ネットワーク中心企画「先端科学技術と社会」とフェス事務局企画「さかえサイエンストーク」以外は、参加企画としてサイエンスイベントを登録しています。

2012年9月29日(土)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/497>

感覚をフル回転!!!

天野淳二氏(蒲郡市生命の海科学館 職員)



視覚、聴覚、臭覚、味覚、触覚のワークショップを体験しました。大人になると高い音が聞こえなくなる、ミラクルフルーツでの味覚変化を体験しました。



2012年9月29日(土)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/615>

ボランティアガイドツアー



自然史博物館ボランティアが、来館者に自然史博物館の展示を解説しました。



2012年10月6日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/709>

アニマルトークリレー (コツメカワウソ)

動物園スタッフがコツメカワウソについて説明しました。コツメカワウソの生態に皆さんビックリしたようです。



2012年9月29日(土)~11月4日(日)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/527>

一般社団法人日本地質学会 共催事業 写真展「惑星地球フォトコンテスト 入賞作品展」



あいちサイエンスフェスティバル全会期 37 日間、惑星地球フォトコンテスト入賞作品展を開催。地球の美しさやすばらしさを感じる作品を見ていただきました。



2012年10月6日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/703>

アニマルトークリレー (スナドリネコ)

動物園スタッフがスナドリネコについて説明しました。スナドリネコの生態に皆さん感心したようです。



ネットワーク機関によるフェス参加企画

2012年10月6日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/707>

アニマルトークリレー (ハヌマンラングール)

動物園スタッフがハヌマンラングールについて説明しました。なじみがないハヌマンラングールの生態を皆さん熱心に聞いてくださいました。



2012年10月6日(土)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/617>

ボランティアガイドツアー



自然史博物館ボランティアが、来館者に自然史博物館の展示を解説しました。



2012年10月6日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/705>

アニマルトークリレー (ライオン)

動物園スタッフがライオンについて説明しました。ライオンの生態を皆さんと学習しました。



2012年10月6日(土)~10月7日(日)

名古屋市科学館

<https://aichi-science.jp/630>

でんきの科学館

青少年のための科学の祭典 2012 名古屋大会

地域の教員や科学を楽しむグループなどによる48の実験工作ブースを参加者の皆さんで体験。約5200人の幅広い年齢層の方々に、科学の面白さや楽しさを感じていただけたようです。



2012年10月6日(土)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/501>

ねんど de つくろう! アノマロカリス

吉口インタープリター、水野工場長(蒲郡市生命の海科学館)



アノマロカリスの発見についてレクチャーの後、粘土でアノマロカリスの模型をつくりました。いろいろな色のアノマロカリスができました。



2012年10月6日(土)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/675>

電子顕微鏡公開日「小さな化石を見る」



有孔虫を中心とした微化石を走査型電子顕微鏡で観察しました。



ネットワーク機関によるフェス参加企画

2012年10月6日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/711>

野はらで生きもの体験

午前の部は事前に募集した参加者だけでなく、当日受付も実施しました。野はらの生きものを体験しました。



2012年10月8日(月・祝)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/719>

アニマルトークリレー (インドクジャク)

動物園スタッフがインドクジャクについて説明しました。インドクジャクの生態に皆さん驚いたようです。



2012年10月7日(日)

蒲都市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/524>

アノマロ宇宙へ行く! ~宇宙(そら)から地球を見てみよう~ 第1回「プラネット・アース~惑星地球と生命の海~」

共催: 名古屋大学地球水循環研究センター・名古屋文理大学・蒲都市生命の海科学館



10月20、27日のバルーンによる撮影に先立ち、人類の住むこの地球について山中学芸員と名古屋文理大の佐原先生がレクチャー。打ち上げへの期待が高まりました。



2012年10月8日(月・祝)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/723>

アニマルトークリレー (サル舎A棟)



動物園スタッフがサル舎A棟の生き物について説明しました。さまざまなサルの生態を皆さん熱心に聞いてくれました。



2012年10月7日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/715>

ボタニカルトーク ~植物園スタッフが誘う植物の魅力と不思議~

植物園の職員が「悪魔のような貴方~ウパス~」と題してトークを実施。参加の皆様に興味深く聞いていただきました。



2012年10月8日(月・祝)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/717>

アニマルトークリレー (シンリンオオカミ)

動物園スタッフがシンリンオオカミについて説明しました。シンリンオオカミの生態に皆さん驚いたようです。



ネットワーク機関によるフェス参加企画

2012年10月8日(月・祝)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/721>

アニマルトークリレー (メダカ館の生き物)

動物園スタッフがメダカ館の生き物について説明しました。その言われや秘密に触れることができました。



2012年10月9日(火)～10月26日(金) 名古屋大学博物館

<https://aichi-science.jp/486>

サイエンスイラストレーション・サマースクール 2012 in あいち 受講者作品展



8月末に開催した「あいちサイエンスコミュニケーション・サマースクール 2012 in あいち」で取り組んだオブザベーション・ドローイングという手法の学習成果を展示。同時に講師として来日した J.E. フェアマン氏ら北米サイエンスイラストレーション教育陣の代表的作品も展示しました。



2012年10月8日(月・祝)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/681>

収蔵庫たんけん「魚類標本」

ゲスト：長郷文和氏 (名城大学 理工学部 准教授)

ファシリテーター：谷口正明氏 (名城大学 総合数理教育センター 准教授)



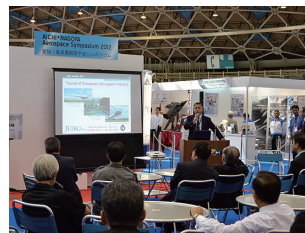
魚類標本を中心に自然史博物館の収蔵庫に保管されている標本を見学しました。



2012年10月9日(火)～10月14日(日) ポートメッセなごや

<https://aichi-science.jp/629>

航空宇宙シンポジウム 2012



2012年国際航空宇宙展と併催し、講演会、国内企業・団体によるプレゼンテーション、出展企業交流会、商談・相談会が行われました。また、「愛知・名古屋航空宇宙産業クラスター」ブースには40社が出展し、2000件以上の国内外企業との交流・商談が行われました。



2012年10月8日(月・祝) ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/597>

名大カフェ “Science, and Me” 第27回『中部発人工衛星“金シャチ1号”の挑戦』

ゲスト：田島宏康氏 (名古屋大学 太陽地球環境研究所教授)

ファシリテーター：戸次真一郎氏 (名古屋大学 リサーチ・アドミニストレーション室 URA)



イベントの最初に超小型江衛星“金シャチ1号”を知っていますか。と聞いたところ、半数近い方は“金シャチ1号”について知らないと回答しました。しかし、宇宙ごみの観測やアマチュア無線の中継器といった超小型衛星ならではの役割や、比較的少額で打ち上げ可能と話に多くの方が興味を持ったようです。



2012年10月10日(水)

名城大学

<https://aichi-science.jp/851>

平成24年度第1回 招聘講師による総合数理談話会 『生徒の疑問に応え、有用性を実感させる数学的活動の授業づくり』

講師：廣田祥治氏 (西三数学サークル代表)



Σ や数列に対し抵抗感を持つ多くの生徒に対してどのように教えてきたか、図形や模型で具体的イメージを作り数列を教える試みなどを紹介しました。興味を持たせる教材を使い、生徒にわかりやすく、且つ、実際の授業での生徒のつまづきを高いレベルまで考えさせ導く教え方に、参加者は感激していました。



ネットワーク機関によるフェス参加企画

2012年10月11日(木)

ポートメッセなごや

<https://aichi-science.jp/627>

航空宇宙シンポジウム 2012 講演会

講師：小川悦雄氏（愛知県副知事）、石川隆司氏（名古屋大学教授）、東明工業株、東洋航空電子株



愛知県小川副知事による基調講演「アジア No.1 航空宇宙産業クラスターの形成に向けて」を始め、名古屋大学 / 複合材工学研究センター長石川教授から「ナショナルコンポジットセンター」について講演、東明工業株式会社坪内常務取締役、東洋航空電子株式会社野田常務取締役から各社のプレゼンテーションが行われました。



2012年10月13日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/727>

アニマルトークリレー（ゴリラ）

動物園スタッフがゴリラについて説明しました。意外に知らないゴリラを皆さん楽しんでいただけたようです。



2012年10月12日(金)

中部国際空港セントレアホール

<https://aichi-science.jp/600>

JAXA 航空シンポジウム in NAGOYA —世界のトップ機関と語る環境に優しい航空技術—

中橋和博氏 (JAXA)、チェティ氏 (印 National Aerospace Laboratories)、チェルニソフ氏 (露 TsAGI)、ムガー氏 (仏 ONERA)、シン氏 (米 NASA)、石川隆司氏 (名古屋大学)、スードロック氏 (IFAR 議長)、ノブレ (エアバス)、シヴァジャンカラ氏 (ボーイング)、戸田信雄 (三菱重工業)、阿部泰典氏 (日本航空)、李家賢一氏 (東京大)、岩宮敬幸氏 (JAXA)



世界の公的航空研究開発機関のトップら 5 名による講演と国内外の航空専門家 8 名によるパネル・ディスカッションを実施。公的研究機関による航空研究開発の重要性および航空分野の環境負荷低減の取り組みにおける国際連携協力の意義と JAXA の役割を国内外の参加者と共有しました。



2012年10月13日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/725>

アニマルトークリレー（メダカ館の生き物）

動物園スタッフがメダカ館の生き物について説明しました。その言われや秘密に触れることができました。



2012年10月12日(金)～10月13日(土) 名古屋市立大学

<https://aichi-science.jp/595>

平成 24 年度 名古屋市立大学 秋の薬草園の市民公開



新校舎建築工事中で足もとがたいへん悪いなかでの開催でしたが、熱心な多数の市民の方々にご参加いただきました。ちょうどよいタイミングでウコンやチョウセンアサガオの花が咲き、薬草園ならではの体験をして

いただきました。



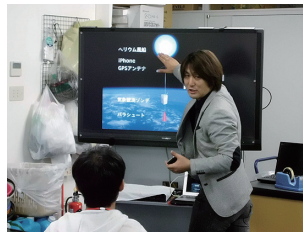
2012年10月13日(土)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/891>

アノマロ宇宙へ行く！～宇宙（そら）から地球を見てみよう～ 第 2 回「パラシュートで予備実験」

共催：名古屋大学地球水循環研究センター・名古屋文理大学・蒲郡市生命の海科学館



バルーン打ち上げから撮影機器回収までを名古屋文理大の佐原先生が解説しました。参加者のチーム力を高めるためのパラシュートづくりなどを共同で行いました。



ネットワーク機関によるフェス参加企画

2012年10月13日(土)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/619>

ボランティアガイドツアー



自然史博物館ボランティアが、来館者に自然史博物館の展示を解説しました



2012年10月13日(土)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/506>

読み語り ～神々～

金沢ヒューマン文庫を愛し守る会のみなさん



金沢ヒューマン文庫を愛し守る会のみなさんによる「神々」をテーマとした朗読と日本古来の雅楽の演奏が開催されました。



2012年10月13日(土)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/504>

花粉を見てみよう!

天野淳二氏(蒲郡市生命の海科学館職員)



顕微鏡を使っているいろいろな花の花粉を観察しました。ユリ、ムクゲ、セイタカアワダチソウ、キュウリ、アサガオ、サルビア、コスモスなどさまざまな花粉をみることができました。



2012年10月14日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/741>

アサギマダラのマーキング調査



自然観察員の方を招いて植物園内でマーキング調査を行いました。他の場所でマーキングされた蝶を確認することができました。



2012年10月13日(土)～11月4日(日) 豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/679>

第8回自然史博物館自由研究展



豊橋市内の小中学生が行った自由研究の優秀作品の表彰し、展示しました。



2012年10月14日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/735>

アニマルトークリレー(カピバラ)

動物園スタッフがカピバラについて説明しました。皆さん熱心に聞いてくださいました。



ネットワーク機関によるフェス参加企画

2012年10月14日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/731>

アニマルトークリレー (ゾウガメ)

動物園スタッフがゾウガメについて説明しました。ゾウガメに不思議を皆さん感じたようです。



2012年10月14日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/739>

ボタニカルトーク ～植物園スタッフが誘う植物の魅力と不思議～

植物園の職員が「どんぐりのはなし」と題してトークを実施。参加の皆様に興味深く聞いていただきました。



2012年10月14日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/737>

アニマルトークリレー (ペンギン)

動物園スタッフがペンギンについて説明しました。ペンギンの生態に皆さん驚いたようです。



2012年10月14日(日)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/508>

小学校高学年向け理科実験室 化石発掘をしよう!

浅井インタープリター (蒲郡市生命の海科学館)



化石についての解説の後、実際に化石発掘にチャレンジしました。石を割ってさまざまな化石を見つけることができました。



2012年10月14日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/733>

アニマルトークリレー (動物の飼料)

動物園スタッフが動物の飼料について説明しました。動物の食べ物について学習しました。



2012年10月14日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/729>

動物園長さんといっしょに歩こう

橋川央氏 (名古屋市東山動物園長)

動物園長と一緒に園内を歩き、さまざまな動物についての話を聞きました



ネットワーク機関によるフェス参加企画

2012年10月19日(金)

名古屋市立大学

<https://aichi-science.jp/591>

サイエンスカフェ in 名古屋

ゲスト：島田緑氏（名古屋市立大学講師／専門：細胞生化学）

テーマ：「不思議な遺伝子ワールドへようこそ！～遺伝子の基礎から癌化、老化まで～」



2012年10月20日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/743>

アニマルトークリレー（マレーグマ）

動物園スタッフがマレーグマについて説明しました。マレーグマの生態に皆さん驚いたようです。



2012年10月19日(金)

名古屋市昭和生涯学習センター

<https://aichi-science.jp/805>

昭和金曜科学夜話

「銀河鉄道の夜の謎を考える ～人間と科学とは～」

講師：川勝博氏（名城大学総合数理教育センター長・教授）



科学技術と社会の関係について話を展開。宮沢賢治による科学技術と人間の関係の指摘を振り返り、「保険が効かない科学技術をどのように人間が使うか」について議論を深めました。どのように科学技術を推進する

か、の決断を市民社会が担う「科学技術のシビリアンコントロール」について考えました。



2012年10月20日(土)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/510>

ハロウィン★かぼちゃのバスボムづくり

吉ロインタープリター（蒲郡市生命の海科学館）



ハロウィンが近いのでバスボムを作りました。バスボムやその泡の説明を受け、実際のバスボムで確認しました。



2012年10月20日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/747>

アニマルトークリレー（ボンダヌキ）

動物園スタッフがボンダヌキについて説明しました。皆さん熱心に聞いてくださいました。



2012年10月20日(土)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/621>

ランティアガイドツアー



自然史博物館ボランティアが、来館者に自然史博物館の展示を解説しました。



ネットワーク機関によるフェス参加企画

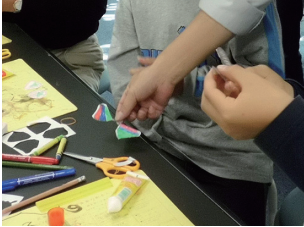
2012年10月21日(日)

蒲郡市生命の海科学館

<http://aichi-science.jp/515>

"パタパタちょう"を作るう〜ゴムを使ったおもちゃ〜

浅井インタープリター (蒲郡市生命の海科学館)



輪ゴムの力で飛ぶパタパタちょうづくりにチャレンジしました。いろいろな蝶をつくり手から上手に飛び立ちました。空を飛ぶすごさを感じることができました。



2012年10月21日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/751>

アニマルトークリレー (ダルマワシ)

動物園スタッフがダルマワシについて説明しました。その知られざる生態に皆さん驚いたようでした。



2012年10月21日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/759>

アサギマダラのマーキング調査



自然観察員の方を招いて植物園内でマーキング調査を行いました。例年よりマーキング数が少なかったため、参加者全員で原因を考えました。



2012年10月21日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/753>

アニマルトークリレー (ニホンザル)

動物園スタッフがニホンザルについて説明しました。その生態に皆さん関心したようでした。



2012年10月21日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/755>

アニマルトークリレー (カピバラ)

動物園スタッフがカピバラについて説明しました。皆さん熱心に聞いてくださいました。



2012年10月21日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/749>

アニマルトークリレー (マレーバク)

動物園スタッフがマレーバクについて説明しました。皆さん初めて知ったことが多いようでした。



ネットワーク機関によるフェス参加企画

2012年10月21日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/761>

アニマルトークリレー (両生類)

動物園スタッフが両性類について説明しました。意外な生態にみなさんビックリでしょう。



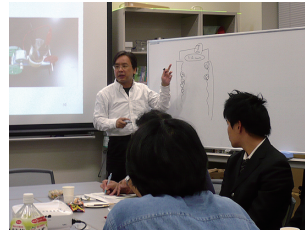
2012年10月25日(木)

名城大学

<https://aichi-science.jp/853>

平成24年度第2回 招聘講師による総合数理解話会 『人生を楽しく生きる!～環境科学実験を楽しみながら～』

講師：川村康文氏 (東京理科大学理学部物理学科教授)



太陽電池フィルムやサボニウス型風車を自作する活動について講演しました。「科学を楽しみながら思いを巡らせると、科学のイメージもふくらみ、学習意欲が培われる」と語り、自身で作詞・作曲した東日本大震災復興支援「つながる思いプロジェクト」テーマソング「つながる思い」を披露し大きな拍手に包まれました。



2012年10月21日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/757>

ボタニカルトーク ～植物園スタッフが誘う植物の魅力と不思議～

植物園の職員が「もみじの話」と題してトークを実施。参加の皆様に興味深く聞いていただきました。



2012年10月27日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/763>

アニマルトークリレー (メダカ館の生き物)

動物園スタッフがメダカ館の生き物について説明しました。その言われや秘密に触れることができました。



2012年10月21日(日)

蒲都市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/513>

科学講座「地球と生命の歴史⑤」 ～はやぶさからはやぶさ2へ～隕石と小惑星～

山中敦子氏 (蒲都市生命の海科学館学芸員)



はやぶさプロジェクトから次のはやぶさ2プロジェクトの内容を学びました。また、隕石と地球の関係についても展示室の内容を交えて学習しました。



2012年10月27日(土)

ラグーナ蒲郡

<https://aichi-science.jp/893>

アノマロ宇宙へ行く!～宇宙(そら)から地球を見てみよう ～第3回「宇宙へ!～いざ、打ち上げ～①」

共催：名古屋大学地球水循環研究センター・名古屋文理大学・蒲都市生命の海科学館



予定の20日が台風のため延期になり、この日に打ち上げを実施しました。打ち上げ地点は好天ながら落下予定の海は波が高く、撮影機器の回収はできませんでした。



ネットワーク機関によるフェス参加企画

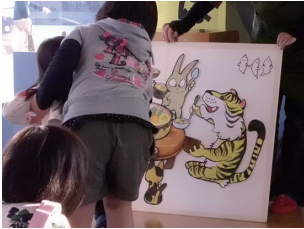
2012年10月27日(土)

<https://aichi-science.jp/519>

おはなしライブ

NPO 法人ブックパートナー

蒲郡市生命の海科学館



紙芝居や人形劇と盛りだくさんの内容で、たのしいお話をたくさん聞きました。



2012年10月27日(土)

<https://aichi-science.jp/765>

樹木医さんといっしょに歩こう

名古屋市東山動植物園



参加者は樹木医の方と園内を歩きながら、樹木に関する話を聞きました。午前の参加者も、実物を見ながら、樹木医の視点からの解説に関心を持って聞かれていたようです。



2012年10月27日(土)

<https://aichi-science.jp/623>

ボランティアガイドツアー

豊橋市自然史博物館



自然史博物館ボランティアが、来館者に自然史博物館の展示を解説しました。



2012年10月27日(土)

<http://aichi-science.jp/767>

樹木医さんといっしょに歩こう

名古屋市東山動植物園



参加者は樹木医の方と園内を歩きながら、樹木に関する話を聞きました。午後の参加者も、実物を見ながら、樹木医の視点からの解説に関心を持って聞かれていたようです。



2012年10月27日(土)

<https://aichi-science.jp/517>

丸太のペン立てづくり

小川公子・竹内恵子 (元蒲郡市保育園長)

蒲郡市生命の海科学館



丸太をつかって自分だけのペン立てづくりに挑戦しました。いろいろな飾りをつけて、色をぬって、工夫をこらしたオリジナルペン立てができました。



2012年10月28日(日)

<https://aichi-science.jp/779>

アニマルトークリレー (アフリカゾウ)

名古屋市東山動植物園

動物園スタッフがアフリカゾウについて説明しました。その秘密に皆さん感心したようです。



ネットワーク機関によるフェス参加企画

2012年10月28日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/775>

アニマルトークリレー (インドサイ)

動物園スタッフがインドサイについて説明しました。その暮らしぶりに皆さんビックリしたようです。



2012年10月28日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/783>

ポタニカルトーク~植物管理人による温室トークリレー~

植物管理人が温室の植物を紹介。参加の皆様積極的に聞いていただきました。



2012年10月28日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/777>

アニマルトークリレー (チンパンジー)

動物園スタッフがチンパンジーについて説明しました。その生息に皆さん驚いたようです。



2012年10月28日(日)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/521>

化石発掘にチャレンジ!

山中敦子氏 (蒲郡市生命の海科学館学芸員)



化石について詳しい解説を聞き、化石の発掘の仕方を学びました。実際に発掘にチャレンジし、化石をたくさんみつかることができました。



2012年10月28日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/773>

アニマルトークリレー (ヒトコブラクダ)

動物園スタッフがヒトコブラクダについて説明しました。コブの秘密に皆さんビックリしたようです。



2012年10月28日(日)

名古屋市科学館

<https://aichi-science.jp/657>

高校生による科学の祭典2012

名古屋市内10高校

名古屋市内の高校10校の科学部などが参加し、16か所のブースに分かれ、日頃の研究成果を発表し合いました。各ブースでは、調査報告や実演、生徒同士の情報交換が行われるなど、活気がありました。また、ステージでの発表は緊張しながらも堂々とした姿で発表をしていました。



ネットワーク機関によるフェス参加企画

2012年10月28日(日)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/687>

島津ぶんせき体験スクール 光と色を分析しよう!

島津製作所



島津製作所のスタッフが豊橋まで来て実験教室を実施しました。光と色について学び、簡易分光器を製作して光などを観察したり、分析装置を使って氷みつやお茶などの色を分析しました。



豊橋市自然史博物館

2012年10月28日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/769>

名古屋メダカ里親プロジェクト 2012 飼育記録・自由研究発表会



メダカの自由研究・飼育記録について研究発表いただき、優秀発表者及び学校について表彰しました。



東山動植物園

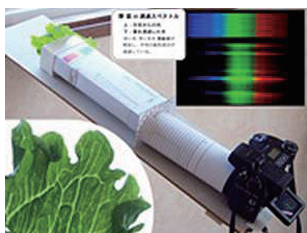
2012年10月28日(木)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/689>

島津ぶんせき体験スクール 光と色を分析しよう!

島津製作所



午前にひきつづき、島津製作所スタッフが実験教室を開催しました。光と色について学び、簡易分光器を製作して光などを観察したり、分析装置を使って氷みつやお茶などの色を分析しました。



豊橋市自然史博物館

2012年11月3日(土)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/646>

JAXA タウンミーティング 生命は海から宇宙へ～宇宙開発の今・未来～

中川敬三氏 (JAXA 宇宙利用ミッション本部「しずく」プロジェクトマネージャ)
吉川真氏 (JAXA 宇宙科学研究所准教授、「はやぶさ2」ミッションマネージャ)



宇宙から地球環境を見つめる衛星「しずく」、海と生命のルーツを探究する「はやぶさ2」の話題に幅広い方々が聞き入り、たくさんの意見や質問が交わされました。



蒲郡市生命の海科学館

2012年10月28日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/771>

名古屋メダカ里親プロジェクト 2012 メダカ放流式



絶滅危惧種であるニホンメダカの地域個体群である名古屋メダカの里親になっていただき、繁殖メダカ413匹をメダカ館の田んぼ水槽に放流していただきました。



東山動植物園

2012年11月3日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/785>

アニマルトークリレー (オランウータン)

動物園スタッフがオランウータンについて説明しました。意外な生活に皆さん驚いたようです。



東山動植物園

ネットワーク機関によるフェス参加企画

2012年11月3日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/791>

アニマルトークリレー (ゴマフアザラシ)

動物園スタッフがゴマフアザラシについて説明しました。かわいい生態を皆さん楽しんだようです。



2012年11月3日(土)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/648>

コズミック・カレッジ~ファンダメンタルコース~

JAXA 宇宙教育センター



JAXA の講師のもと、大気を感じ取ることや惑星の位置を順番に並べることで、サンプリング調査などを実際に体験し、宇宙についてたくさんを学びました。



2012年11月3日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/789>

アニマルトークリレー (ホッキョクグマ)

動物園スタッフがホッキョクグマについて説明しました。雪国ならではの生態に皆さん驚いた感心したようです。



2012年11月3日(土)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/625>

ボランティアガイドツアー



自然史博物館ボランティアが、来館者に自然史博物館の展示を解説しました。



2012年11月3日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/787>

アニマルトークリレー (夜行性動物)

動物園スタッフが夜行性生物について説明しました。暗闇で生活する動物の秘密に皆さんビックリしたようです。



2012年11月3日(土)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/685>

学習教室「鉱物さがし入門」



ガーネット(ざくろ石)の産地を訪れ、鉱物の観察、採集をとおして三河地方の地質を学びました。



ネットワーク機関によるフェス参加企画

2012年11月3日(土)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/677>

電子顕微鏡公開日「昆虫を見る」



走査型電子顕微鏡を使ってモルフォチョウの鱗粉やカの口器の微細構造を観察しました。



2012年11月4日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/797>

アニマルトークリレー (コアラ)

動物園スタッフがコアラについて説明しました。コアラの生態を皆さん楽しんだようです。



2012年11月3日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/701>

平成24年度 動物講演会「考えるゾウ～ゾウの認知の世界～」

講師：入江 尚子氏 (総合研究大学院大学別研究員)



ゾウの知能の高さ、賢さを再認識させられるお話が聴けて、聴講者の皆さんは満足されている様子でした。



2012年11月4日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/801>

アニマルトークリレー (シンリンオオカミ)

動物園スタッフがシンリンオオカミについて説明しました。シンリンオオカミの生態に皆さん驚いたようです。



2012年11月4日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/799>

アニマルトークリレー (アフリカゾウ)

動物園スタッフがアフリカゾウについて説明しました。アフリカゾウの生態に皆さん驚いたようです。



2012年11月4日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/795>

アニマルトークリレー (動物の飼料)

動物園スタッフが動物の飼料について説明しました。動物の食べものについて学習しました。



ネットワーク機関によるフェス参加企画

2012年11月4日(日)

名古屋大学

<https://aichi-science.jp/655>

ノーベル化学賞受賞者による“実験教室” 高分子有機EL素子を作製しよう!

講師：白川英樹氏（筑波大学名誉教授）、廣木一亮氏（津山工業高等専門学校講師）



2000年ノーベル化学賞の白川先生から直接実験方法などの指導を受け、大学の実験装置を使いながら有機ELを作製しました。むずかしい実験ながら、ほとんどの方が有機ELを明るく光らせることに成功。白川先生と直接対話や、大学で使う試薬や実験道具など、通常では行えない体験に感動した様子でした。



名古屋大学

2012年11月4日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/793>

動物園長さんといっしょに歩こう

橋川央氏（名古屋市東山動物園長）

動物園長と一緒に園内を歩き、さまざまな動物についての話を聞きました。



東山動植物園

2012年11月4日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/803>

ボタニカルトーク ～植物園スタッフが誘う植物の魅力と不思議～

植物園の職員が「植物と黄金比」と題してトークを実施。参加の皆様に興味深く聞いていただきました。



東山動植物園

2012年11月25日(日)

ラグーナ蒲郡

<https://aichi-science.jp/895>

アノマロ宇宙へ行く！～宇宙(そら)から地球を見てみよう～第4回「宇宙へ！～いざ、打ち上げ～②」

共催：名古屋大学地球水循環研究センター・名古屋文理大学・蒲郡市生命の海科学館



フェス会期中の11月4日が天候不良のためにこの日に打ち上げを延期。撮影機器の回収はできませんでしたが、バルーン飛行経路のデータを取得できました。



天候等の理由で下記の3件の参加企画が中止となりました。なお、延期情報がウェブサイトに登録された企画は、会期外の実施でもフェス参加企画のページに掲載しています。また、これらの中止企画・延期企画もフェス参加企画数にカウントされています。

2012年9月30日(日)

蒲郡市生命の海科学館

科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー トヨタオリジナルプログラム「衝突安全ボディ」

2012年10月6日(土)

名古屋市東山動植物園

野はらで生きもの体験

2012年10月28日(日)

名古屋市東山動植物園

ボタニカルトーク ～植物園スタッフが誘う植物の魅力と不思議～

その他の企画参加団体によるフェス参加企画

あいちサイエンスフェスティバルは、あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの15実施機関だけの月間ではありません。サイエンスに関した一般向けイベント、サイエンスを介した交流イベントなどに広く企画参加いただけます。

aichi-science.jp ウェブサイトに情報を登録するとウェブサイト上に参加企画として表示されます。ウェブ上では参加申し込みフォーム機能と申込者名簿を管理するツールを利用可能。また2013年度には広報フライヤー作成支援機能を追加予定です。メールマガジンと広報フライヤーにも情報が転載されますので広報チャンネルとしても利用できます。あいちサイエンスフェスティバルのロゴを活用して、みなさんもサイエンスイベントを開催してください。

2012年10月13日(土)

Fleuve cafe

<https://aichi-science.jp/632>

楽しい天文学講座【金環日食から広がる宇宙～太陽系から系外惑星の世界まで】
(第12回宙学・地学カフェ)

大西 浩次先生 (長野工業高等専門学校教授、天体写真家、2012年金環日食日本委員副委員長)
企画参加団体：宙学・地学カフェ (そらがく・ちがくカフェ)



ガリレオに扮して登場した大西先生が、金環日食の仕組みや観測から得られる科学的な成果や楽しみ方など、宇宙天文に関わる楽しい話を身ぶり手ぶりを交えてたくさん教えてくれました。最後には、写真家としても有名な大西先生が撮影された美しい天体写真、星景写真をお土産にプレゼントという嬉しいサプライズもありました。

2012年10月2日(火)

名古屋大学 ES 総合館 ES ホール

<https://aichi-science.jp/607>

一般公開講演会「アメリカのグリーンイノベーション教育」

講師：ジム・ボース氏 (ビッグベリーソーラー社創業者・社長、バブソン大学MBAコースインストラクター)

企画参加団体：名古屋アメリカンセンター / 名古屋大学産学官連携推進本部

名古屋アメリカンセンターと名古屋大学産学官連携推進本部が共催し、アメリカのグリーンイノベーションについての講演会を開催しました。ビッグベリーソーラー社を創業したジム・ボース氏が、同社の太陽電池駆動の圧縮機能つきゴミ箱や効率的なゴミ収集サイクルを実現する通信機能付きゴミステーションのシステムなどを紹介しました。

2012年10月14日(日)

<https://aichi-science.jp/638>

あいちサイエンストーク

「なりゆきを科学する～理論と実験の美しい結晶～」

ゲスト：梅村綾子氏 (ふた葉プロジェクト代表講師)

企画参加団体：サイエンストークをやる会



ご専門である「結晶の成長シミュレーション」と、そのメカニズムを解明する為に使われた「モンテカルロ法」について、広く知ってもらうための講演を行っていただきました。トークの最後に梅村さんは「理論の原点を追求せよ。その為には色々な視点で物事を見て気付け。」とお話いただきました。

2012年10月6日(金)

アートハウスあいち

<https://aichi-science.jp/608>

かがくのひろばワークショップ「空気の原子ひょうほんつくり」

講師：小木曾琴江 (「かがくのひろば」講師、仮説実験授業研究会会員)
企画参加団体：科学のひろば

ビニール袋に「空気をつかまえる」を体験してから、原子について書かれた絵本を朗読。そして、ビニール袋に青・赤・白の小さな玉を入れて「酸素・窒素」が目に見えない小さな規模でぶつかったり、回ったりしているのを実演。その後、小さな発泡スチロール玉に色を塗って合体させ、空気の原子のモデルを作りました。

2012年10月20日(土)

自然科学研究機構 分子科学研究所

<https://aichi-science.jp/631>

資生堂サイエンスカフェ in 分子研

ゲスト：近藤美欧氏 (分子科学研究所 生命・錯体分子科学研究領域 助教)
澤井仁美氏 (分子科学研究所 岡崎統合バイオサイエンスセンター 特任助教)

企画参加団体：資生堂女性研究者サイエンスグラント

愛知県岡崎市の自然科学研究機構 分子科学研究所の一般公開にあわせてサイエンスカフェを開催しました。第5回資生堂女性研究者サイエンスグラントを受賞した同研究所のお二人が、資生堂サイエンスコミュニケーター 蓑田裕美のファシリテーションで、参加者のみなさんと語り合いました。

その他の企画参加団体によるフェス参加企画

2012年10月28日(日) 名古屋大学 ES 総合館 ES ホール

<https://aichi-science.jp/650>

日本科学技術ジャーナリスト会議シンポジウム

「福島原発事故をめぐる4つの事故調査報告書を再検証する」
 登壇者：柴田鉄治氏、小出五郎氏、横山裕道氏、高木勲生氏（以上 JASTJ 理事）、
 山本章夫、山澤弘実（名古屋大学教授）、山本一良（名古屋大学理事・副総長）

企画参加団体：日本科学技術ジャーナリスト会議（JASTJ）



東電、政府、国会、民間による福島原発事故調査報告書を検証しました。名大の原子炉、SPEEDI の専門家が事故の事実経過を確認したのち、日本科学技術ジャーナリスト会議の理事4名が各報告書の疑問点を論じました。加えて、山本一良名大理事を加えた7名で、事故検証の現状と問題点をディスカッションしました。



2012年10月30日(火) 名古屋大学 クレイグスカフェ

<https://aichi-science.jp/651>

第26回 spcafe 臨床環境学への挑戦

ゲスト：高野雅夫氏（名古屋大学大学院環境学研究所 准教授）
 企画参加団体：sp カフェ



多くの参加者が集まり、トークも非常に好評であった。質問を最後にまとめるなどの工夫がされていて良かった。

全国サイエンスフェスティバル交流企画

マリー・キュリー業績ポスター展を全国へ広報出展しました。

全国に広まりつつある地域科学祭。互いのノウハウを学び議論と交流の仲間を増やすべく、全国サイエンスフェスティバル交流企画を推進しました。名古屋大学物質科学国際研究センターが管理する伝で作成されたマリー・キュリー業績ポスター展を全国へお届けしています。

はこだて国際科学祭
2012.8.18 ~ 8.26



<https://aichi-science.jp/472>

函館白百合学園中学高等学校
2012.8.27 ~ 9.12



<https://aichi-science.jp/817>

遺愛女子学院中学高等学校
2012.9.24 ~ 9.29



<https://aichi-science.jp/819>

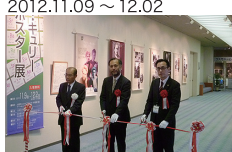


SAFnet サイエンスモール in 福岡
2012.12.15 ~ 12.23



<https://aichi-science.jp/699>

大垣サイトピアセンター
2012.11.09 ~ 12.02



<https://aichi-science.jp/697>



しずおか科学技術月間
2012.7.14 ~ 8.12



<https://aichi-science.jp/470>



東京国際科学フェスティバル



千葉市科学フェスタ
2012.10.23 ~ 11.3



<https://aichi-science.jp/695>

3つのサイエンスフェスティバルからあいちサイエンスフェスティバルへ参加しました。

はこだて国際科学祭



2012.10.11 さかえサイエンストーク「50年後の飛行機・ロケットを語ろう」ファシリテーター参加：笹原悟氏（サイエンス・サポート函館 / 科学楽しみ隊）
<https://aichi-science.jp/549>

しずおか科学技術月間



2012.10.26 さかえサイエンストーク「ロボットテクノロジーによる移動を考える」ファシリテーター：ファシリテーター：木南友希氏（静岡科学館）
 ゲスト：中嶋秀朗氏（千葉工業大学 未来ロボティクス学科 准教授）
<https://aichi-science.jp/559>



千葉市科学フェスタ

あいちサイエンスフェスティバル 2013 でも、さかえサイエンストークに地域科学祭からのコンテンツ交換を受け入れ。はこだて国際科学祭としずおか科学技術月間からはファシリテーター、千葉市科学フェスタからはゲストを迎えました。このほかにも、横浜から資生堂サイエンスカフェ、東京から宙学・地学カフェが企画参加するなど、全国から愛知県での取り組みに注目が集まっています。

プレ企画とポスト企画

あいちサイエンスフェスティバル 2012 の会期 (9 月 29 日～11 月 4 日) 以外も、aichi-science.jp ウェブサイトを通年運用しました。会期以前をプレ企画、会期以降をポスト企画として参加企画の登録を受け付け、ウェブとメールマガジンでの情報発信を行いました。ここでは、5 月の「国際植物の日」月間 (P32～33 参照)、6 月の「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」展連携企画 (P34 参照)、通年企画のあいちサイエンスコミュニケーション・セミナー (P36 参照) 以外のプレ企画とポスト企画をご紹介します。aichi-science.jp ウェブサイト上の開催報告もぜひご覧ください。

プレ企画

日付	参加企画	企画参加団体
2012/4/23	spcafe 地域のストーリーをデザインする	sp カフェ
2012/4/28	話題の科学関連イベント「ウナギのひみつ」	名古屋市科学館
2012/5/6	話題の科学関連イベント「ウナギのひみつ」	名古屋市科学館
2012/5/18	サイエンスカフェ in 名古屋	名古屋市立大学
2012/5/22	第 23 回 spcafe イスラーム 生活の中の神様	sp カフェ
2012/6/6	名大カフェ "Science, and Me" 第 23 回『日本発!ヨウ素を使った緑の合成化学-ものづくりと環境技術-』	名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室
2012/6/14	第 24 回 spcafe	sp カフェ
2012/6/15	サイエンスカフェ in 名古屋	名古屋市立大学
2012/6/23	科学的な考え方を学び楽しむ化学 (科学) 実験教室 (大人向き・A コース)	名古屋市科学館
2012/6/30	さかえサイエンストーク「切手で星座を楽しもう」	名古屋大学産学官連携推進本部あいちサイエンスフェスティバル事務局
2012/7/4	名大カフェ "Science, and Me" 第 24 回『迫り来る世界の食糧危機～植物科学を利用した解決へのチャレンジ～』	名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室
2012/7/7	科学的な考え方を学び楽しむ化学 (科学) 実験教室 (中学生向き・B コース)	名古屋市科学館
2012/7/9	あいちサイエンストーク「頭の中に単語はいくつあるか?」	サイエンストークをやる会
2012/7/19	第 25 回 spcafe 天体ショーと人類	sp カフェ
2012/7/20	サイエンスカフェ in 名古屋	名古屋市立大学
2012/8/1	名古屋スペースキャンプ 2012 NSC-1	JAXA, 名古屋大学, 名古屋市科学館
2012/8/8	名大カフェ "Science, and Me" 第 25 回『ホヤって何?—ホヤの受精研究に魅せられて—』	名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室
2012/8/24	キッズ ボタニカル・ラボ	名古屋市東山動植物園, 名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室
2012/8/24	サイエンスカフェ in 名古屋	名古屋市立大学
2012/8/26	"国際化学オリンピック ワークショップ ～環境に優しい有機化学反応～ ＜同時開催：特別講座『化粧品と化学～皮膚と美容～』＞"	化学オリンピック支援委員会, 科学技術振興機構
2012/9/5	名大カフェ "Science, and Me" 第 26 回『ヒッグス粒子をつかまえる』	名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室
2012/9/21	サイエンスカフェ in 名古屋	名古屋市立大学

ポスト企画

日付	参加企画	企画参加団体
2012/11/16	昭和金曜科学夜話「昆虫の生存戦略 ～脱皮・変態とホルモン～」	名古屋市昭和生涯学習センター, 名城大学, 名古屋大学 ASF 事務局
2012/11/16	サイエンスカフェ in 名古屋	名古屋市立大学
2012/11/17	企画展「見つめてふしぎ!人間の眼」	名古屋市科学館
2012/11/20	平成 24 年度 第 3 回 招聘講師による総合数理解話会『原発問題とエネルギー政策～福島原発事故を経験して～』	名城大学
2012/11/21	名大カフェ "Science, and Me" 第 28 回『未来の医療ロボットを創る!—バイオニックな視点からみた最先端技術の紹介—』	名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室
2012/11/24	日本農芸化学会サイエンスカフェ in 名古屋市科学館「体内時計の乱れと食事とメタボ」	日本農芸化学会, 名古屋市科学館
2012/11/24	市民観望会 月を見る会	名古屋市科学館
2012/11/29	第 27 回 spcafe 物理学と情報科学の融合	sp カフェ
2012/12/1	第 4 回「知の拠点」こども科学教室	愛知県
2012/12/2	かがくゼミナール「視力と眼の屈折・調節～近視は老視にならないか!？」	名古屋市科学館
2012/12/3	名古屋から考える被災地とメディア	サイエンストークをやる会
2012/12/8	第 12 回全国科学教育ボランティア研究大会	全国科学教育ボランティア研究大会, 名城大学, 名古屋大学 ASF 事務局
2012/12/19	第 29 回 名大カフェ "Science, and Me" 「分子・イオンの世界—水に溶ける? 溶けない? 物質変化を計算科学する!—」	名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室
2012/12/19	第 28 回 spcafe 寒冷化から考える温暖化による生物絶滅	sp カフェ
2012/12/20	平成 24 年度 第 4 回 招聘講師による総合数理解話会『酸化ストレスと病態～生化学研究の道のり～』	名城大学
2012/12/21	サイエンスカフェ in 名古屋	名古屋市立大学
2012/12/21	昭和金曜科学夜話「おもしろ科楽実験オンパレード ～君の脳力に挑戦～」	名古屋市昭和生涯学習センター, 名城大学, 名古屋大学 ASF 事務局
2012/12/24	夜間投影 冬至の太陽 (大人向け)	名古屋市科学館
2012/1/18	サイエンスカフェ in 名古屋	名古屋市立大学
2013/1/18	昭和金曜科学夜話「生命補助医療の倫理」	名古屋市昭和生涯学習センター, 名城大学, 名古屋大学 ASF 事務局
2013/1/21	第 29 回 spcafe デジタルアースの構築と利用	sp カフェ
2013/1/22	SMBC パーク栄セミナー「謝罪では腹の虫はおさまらず～怒りの心理学～」	三井住友銀行 SMBC パーク栄
2013/1/29	第 10 回 SJAC 講演会「国際共同開発 (航空機開発作業への参加)—Boeing 社と民間航空機で共同開発 40 年」	日本航空宇宙工業会
2013/2/5	「第 7 回わかしゃち奨励賞」最終提案発表会・最優秀賞選考会	愛知県
2013/2/13	第 30 回 名大カフェ "Science, and Me" 「幻の中将棋を指してみませんか」	名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室
2013/2/15	昭和金曜科学夜話「福島原発事故から科学技術ジャーナリズムを考える」	名古屋市昭和生涯学習センター, 名城大学, 名古屋大学 ASF 事務局
2013/2/16	オリジナルホパークラフトをつくろう!	蒲郡市生命の海科学館
2013/2/16	サイエンス・ラボ 科学講座③ 宝石の美しさを科学する	蒲郡市生命の海科学館
2013/2/16	第 90 回 JAXA タウンミーティング in 名古屋市科学館	ISTS, 愛知県, 名古屋大学, 名古屋市科学館
2013/2/22	第 30 回 spcafe 合理的な神秘主義	sp カフェ
2013/2/24	かがく絵本の世界 ～さよなら公演～	蒲郡市生命の海科学館
2013/2/24	科学講座「地球と生命の歴史⑨」～人類の誕生と進化～	蒲郡市生命の海科学館
2013/3/3	知の拠点サイエンスフェスタ	愛知県
2013/3/5	歴史からわかる! 防災と減災まちづくり	名古屋市消防局防災室, 名古屋市港防災センター
2013/3/6	第 31 回 spcafe 分類構築の心理学と系統推定の歴史学	sp カフェ
2013/3/6	第 31 回 名大カフェ "Science, and Me" 「生命は機械仕掛けなのか? 回転するへん毛モーターから学ぶ生命原理」	名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室
2013/3/15	サイエンスカフェ in 名古屋	名古屋市立大学
2013/3/16	海洋科学コミュニケーション実践講座 COSIA ワークショップ	蒲郡市生命の海科学館
2013/3/20	「しんかい 6500 で探る深海 ～海底資源探査とメタンハイドレート～」	蒲郡市生命の海科学館
2013/3/20	名古屋大学オープンレクチャー 2013	名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室
2013/3/24	防災トーク「災害! いざというとき、どうする?」	名古屋市港防災センター



Fascination of
Plants Day
May 18th 2012

「国際植物の日」月間

5月18日の「国際植物の日」は、正式名称を「国際植物の日ー世界のみんなで植物のたいせつさを考える日ー」といい、2012年に制定されました。植物の大切さや植物科学の面白さをより多くの人々と共に見直し共有するための日として、欧州植物科学機構（EPSO）が主唱したものです。5月18日を中心とした期間に世界38か国以上で植物関連のイベントが広く開催されました。日本でも国内コーディネーターグループが構成され、全国の植物関連の機関や研究室が主催し、講演会、施設公開、実験教室、自然観察、サイエンスカフェなどが実施されました。あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークでは、独自に5月の1か月を「国際植物の日」月間として設定。愛知県内の植物関連イベントが集合しました。

国際植物の日・日本国内コーディネーターグループ情報：
<http://hwww.plantday12.eu/japna.htm>

2012年5月3日(木)

<https://aichi-science.jp/397>

2012年5月4日(金)

<https://aichi-science.jp/395>

花と緑のクイズラリー

当日の来園者が植物園内10か所を回って10題の植物に関する問題に取り組みました。楽しかったという感想や、園内が広くて疲れたという感想もありました。



2012年5月4日(金)

<https://aichi-science.jp/394>

自分で作る花の香水（バラ・スズランなど）



調香師の田代先生の指導により、来園者が香水の調香を楽しみました。



2012年5月4日(金)

<https://aichi-science.jp/396>

みどりの日に樹木医さんと歩こう



午前・午後実施：
参加者は樹木医の方と園内を歩きながら、樹木に関する話を聞きました。実物を見ながら、樹木医の視点からの解説に関心を持って聞かれていたようです。



2012年5月6日(日)

<https://aichi-science.jp/392>

東山の森 生きものあそびアーケード



身近な植物の葉や実などを使った体験型のイベントで、遊びをとおして自然の仕組みを学習でき、親子連れを中心に好評でした。



2012年5月9日(水)

<https://aichi-science.jp/399>

みどりの日に樹木医さんと歩こう

2012年5月9日(水)

<https://aichi-science.jp/399>

さかえサイエンストーク～国際植物の日月間～
サンパチェンスで感動、環境、そしてエネルギー
ゲスト：小杉波留夫氏（株式会社 サカタのタネ 花統括部 花き開発グループ）



広く知られるインパチェンスという花の弱点を改良して作り出したサンパチェンスの機能をサカタのタネの担当者みずから紹介。CO2を多く吸収するという利点から、長期間にわたる開花性などを解説。最後には、サンパチェンスから作ったバイオエタノールによる発電実験を行い、環境にやさしい植物だと説明しました。



2012年5月11日(金)~12日(土)

名古屋市立大学

<https://aichi-science.jp/385>

平成24年度 名古屋市立大学 春の薬草園の市民公開



新校舎建築工事中で足もとがたいへん悪いなかでの開催でしたが、熱心な多数の市民の方々にご参加いただきました。例年と比べて寒かったせいか、ちょうどよいタイミングでケシの花が咲き、通常では絶対見ることの出来ない薬草園ならではの体験をしていただきました。



2012年5月23日(水)

三井住友銀行 SMBC パーク栄

<https://aichi-science.jp/404>

名大カフェ SCIENCE, AND ME

「花の中では何が起きている?—最新技術でみる植物のダイナミックな受精—」

ゲスト：東山哲也氏 (名古屋大学教授)



めしべについて花粉から卵細胞に向かって花粉管が伸びて受精するメカニズムを紹介しました。世界を驚かせた研究で使ったトレニアという花から、卵細胞が入っている胚珠の取り出しに参加者全員がチャレンジ。実験体験に一同で大興奮! 発表したばかりの新発見「植物受精のバックアップシステム」も詳しく説明しました。



2012年5月16日(水)

三井住友銀行 SMBC パーク栄

<https://aichi-science.jp/405>

さかえサイエンストーク~国際植物の日月間~

切ったら増える植物の再生能力の謎に迫る

ゲスト：石川雅樹氏 (基礎生物学研究所生物進化研究部門 助教)



話題の iPS 細胞について、植物では 1958 年にニンジンで成功していたと聞きに会場一同でビックリ。ヒメツリガネゴケについて、幹細胞を制御するいくつかの遺伝子をさらに上位でコントロールするマスタースイッチ「ステミン遺伝子」の発見ストーリーとその最新研究成果を紹介。映画監督の仕事になぞらえ説明しました。



2012年5月30日(水)

三井住友銀行 SMBC パーク栄

<https://aichi-science.jp/403>

さかえサイエンストーク~国際植物の日月間~

「意外と楽しいゾ、植物園!」

ゲスト：松谷茂氏 (京都府立植物園名誉園長、京都府立大学客員教授)



全国の公立総合植物園で入園者数4年連続トップを誇る京都府立植物園が、過去に2度も廃止の危機を迎えていた事実を紹介。それを打破するために、当時としては画期的といわれた数々の試みのルーツと工夫についてトークを展開。最後には、集まったみなさんに持参した植物をまわして、意外なウンチクを披露してくれました。



2012年5月19日(土)~20日(日)

名古屋市科学館

<https://aichi-science.jp/409>

国際植物の日記念行事『世界の研究者が使う植物、シロイヌナズナを観察しよう!』

講師：小林正智氏 (理化学研究所バイオリソースセンター) ほか



理化学研究所の2名の専門家の指導で、モデル植物「シロイヌナズナ」について、葉に毛(トライコーム)のあるものとなない変異体を顕微鏡で観察し、葉の毛の役割について(植物は虫をどうやって撃退しているのか)を解説しました。また、八重咲きの花が咲いた変異体を観察し、花をつくるための遺伝子について説明しました。



2012年6月28日(木)

シアターカフェ(名古屋市中区)

<https://aichi-science.jp/446>

「あいちサイエンストーク」のビデオアーカイブをみる会

ビデオゲスト：石川雅樹氏 (基礎生物学研究所生物進化研究部門 助教)



大須に新たにオープンした「シアターカフェ」の主催でサイエンストークのアーカイブを視聴する試みを実施。「国際植物の日」月間のビデオアーカイブを見たのち、参加者全員でサイエンスとの関わり合いについて語りあいました。



「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」展連携企画

国立科学博物館が作成した巡回展が、豊橋市自然史博物館とトヨタテクノミュージアム産業技術記念館で開催。これを契機に連携活動を展開しました。

企画展「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」 2012年5月19日(土)~7月8日(日)

豊橋市自然史博物館



これまでにノーベル賞（物理学賞、化学賞、生理学医学賞）を受賞した15人の日本人科学者について、その業績をパネルや関連資料により紹介しました。



<https://aichi-science.jp/428>

あいちサイエンストーク ~ノーベル賞を受賞した日本の科学者~ 「謎の素粒子ニュートリノ」

豊橋市自然史博物館

2012年6月16日(土)

ゲスト：伊藤好孝氏（名古屋大学 太陽地球環境研究所 教授）
ファシリテーター：松岡敬二氏（豊橋市自然史博物館 館長）



カミオカンデでともに研究していた伊藤氏が2002年ノーベル物理学賞の小柴昌俊氏の業績を紹介。ニュートリノの存在の予言から発見、小柴グループによる宇宙ニュートリノ発見までの歴史を詳しく解説しました。参加者からの質問にパソコンから図版を探し出して説明するなど、さすが最先端研究者と思わせるトークででした。



<https://aichi-science.jp/434>

あいちサイエンストーク ~ノーベル賞を受賞した日本の科学者~ 「光る生き物のサイエンス」

豊橋市自然史博物館

2012年6月2日(土)

ゲスト：大場裕一氏（名古屋大学 生命農学研究科 助教）
ファシリテーター：松岡敬二氏（豊橋市自然史博物館 館長）



2008年にノーベル化学賞を受賞した下村脩氏との交流の思い出からトークをスタート。光る生き物が必ず持つルシフェリンとルシフェラーゼについて詳しく解説したのち、全員にウミホタルを配布して発光現象を各自で観察しました。そのうえで、自身が取り組む日本全国の発光生物の再調査プロジェクトを紹介しました。



<https://aichi-science.jp/430>

あいちサイエンストーク ~ノーベル賞を受賞した日本の科学者~ 「物質と質量の起源の謎に挑む」

豊橋市自然史博物館

2012年6月23日(土)

ゲスト：棚橋誠治氏（名古屋大学 素粒子宇宙起源研究機構/理学研究科 教授）
ファシリテーター：松岡敬二氏（豊橋市自然史博物館 館長）



益川・小林両氏の2008年ノーベル物理学賞の業績を紹介しました。素粒子とは何か、どのように観測できるのかを詳しく解説。物質の起源の謎を身振り手振りで熱く語ってくれました。さらに、同時受賞した南部陽一郎氏の業績にも触れ、日本人科学者が素粒子物理学の発展に大きく貢献していることを紹介しました。



<https://aichi-science.jp/436>

あいちサイエンストーク ~ノーベル賞を受賞した日本の科学者~ 「右手型と左手型の分子をつくりわける」

豊橋市自然史博物館

2012年6月9日(土)

ゲスト：北村雅人氏（名古屋大学 創薬科学研究科 教授）
ファシリテーター：松岡敬二氏（豊橋市自然史博物館 館長）



2001年にノーベル化学賞を受賞した野依良治氏の不斉合成の業績を、一番弟子のひとりである北村雅人名大教授が詳しく解説しました。さらに、廃棄物が出ない有機合成を目指した研究を引き続き展開する北村教授自身の仕事も紹介。これからの化学研究に必要な情熱について熱く語りかけました。



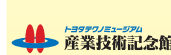
<https://aichi-science.jp/432>

企画展「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」 2012年7月14日(土)~9月2日(日)

トヨタテクノミュージアム産業技術記念館



これまでにノーベル賞（物理学賞、化学賞、生理学医学賞）を受賞した15人の日本人科学者について、その業績をパネルや関連資料により紹介しました。



<https://aichi-science.jp/889>

あいちサイエンスフェスティバルのロゴマーク

ミクロな生命からマクロな宇宙までを想像させる全体シルエットで、サイエンスの幅広さを表現。人にも植物にも見えるデザインにより生物多様性をシンボル化。星の上に住むもの、星の外にあるもの、ありとあらゆる存在の声を聴き、見つめる営みがサイエンスであることを連想させる。愛知県からサイエンスが芽吹くイメージと、愛知県民がサイエンス・コミュニケーターとして相互に交流・議論し、世界へ情報発信する姿をイメージとして重ね合わせて表現した。

デザイン：松場宏忠 (MTB Design)



広報フライヤー

◎フェス参加企画では自由に上記ロゴがご利用いただけます。フェス事務局が発行したフライヤー以外でも広報に活用いただきました。

あいちサイエンスフェスティバル 2013 広報フライヤー



サイエンスイラストレーション



「国際植物の日」月間



ノーベル賞を受賞した日本の科学者



蒲郡市生命の海科学館あいちサイエンスフェスティバル 2013



国際航空宇宙展 JA2012



サイエンストーク



三井住友銀行 SMBC パーク 栄



三河部会キックオフ企画



ウェブサイト

フェス事務局が運用する aichi-science.jp ウェブサイトでは、サイエンスイベント参加企画の登録を受け付けています。企画参加団体みずからが情報をウェブ上で入力。内容はメールマガジンと広報印刷物に転載されます。



メディア掲載情報

フェス事務局では積極的にプレスリリースを発行。今年度も多くのメディアに紹介いただきました。届いた情報をご紹介します。

テレビ

豊橋市自然史博物館企画展「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」、2012年6月18日(月)～24日(金)、豊橋ケーブルネットワーク「とよはしNOW」

新聞

- ◎工、物理、天文、生物、航空宇宙工学/研究者とサイエンストーク/栄で来月スタート、2012年9月25日、読売新聞(名古屋版)
- ◎10月9～14日 国際航空宇宙展 ポートメッセなごや、中部国際空港/連携企画多彩に/大学や研究機関、平成24年9月29日、読売新聞(中部支社版特別面)
- ◎科学身近に講演・交流/11月までフェス/航空宇宙展と連携も、平成24年9月29日、朝日新聞(朝刊名古屋版)
- ◎惑星地球フォトコンの入賞作品展が好評/生命の海科学館、平成24年10月5日、東日新聞
- ◎他機関と連携でイベント/あすからフェスタ開幕/生命の海科学館、平成24年10月7日、東日新聞
- ◎課題挙げ連携模索/蒲郡/学芸員が円卓会議、平成24年10月9日、中日新聞(愛知県面)
- ◎きょうから「2012年国際航空宇宙展」/連携イベントも続々開催/連携企画 さかえサイエンストーク/対話イベント「航空技術と社会～ニッポンの飛行機 川崎T4とブルーインパルス」、平成24年10月9日、読売新聞(中部支社版)
- ◎「T4」開発の苦勞語る/航空宇宙展/中部空港で講演会、平成24年10月14日、読売新聞(中部支社版)
- ◎アノマロ1号宇宙へ/生命の海科学館が搭載スマホで地球撮影/着水確認も荒波で当日の回収断念、平成24年10月29日、東日新聞
- ◎大空への挑戦 果てしなく/改良重ねて夢実現/技術者、パイロット、整備員が協力/対話型イベント「ニッポンの飛行機 川崎T4とブルーインパルス」/吉田茂・川崎重工業サブ・チーフデザイナー/あいちサイエンスフェスティバル2012、平成24年11月8日、読売新聞(中部支社版)
- ◎レーザーの衝撃波で発射/さかえサイエンス・トーク「50年後の飛行機・ロケットを語ろう」/佐宗章弘・名古屋大教授、平成24年11月8日、読売新聞(中部支社版)
- ◎「超小型」中部活性化狙う/名大カフェ「中部発人工衛星「金シャチ1号」の挑戦」/田島宏康・名古屋大教授、平成24年11月8日、読売新聞(中部支社版)

雑誌

- ◎サイエンスカフェへようこそ、季刊 理科の探検 (RikaTan) 2012年 秋号
- ◎資源を養殖する/科学への誘い THE SCIENCE、平成24年12月、precio2013年1月号 (vol.37)、株式会社メディアネットワークコミュニケーションズ

新聞折り込み情報誌

- ◎あいちサイエンスフェスティバル2012、平成24年9月、三井住友銀行 SMBCパーク 栄、SMBC PARK SAKAE 2012年10月号
- ◎謝罪では腹の虫はおさまらず～怒りの心理学～、平成24年12月、三井住友銀行 SMBCパーク 栄、SMBC PARK SAKAE 2013年1月号

広報誌

- ◎あいちサイエンスフェスティバル2012を開催、平成24年12月17日、名大トピックス No.235 (名古屋大学広報誌)
- ◎サイエンスイラストレーション・サマースクール2012 in あいちを開催、平成24年10月16日、名大トピックス No.233 (名古屋大学広報誌)

あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー

あいちサイエンスフェスティバルの通年企画として「あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー」を開講しました。座学系セミナーと活動系セミナーの2系統を提供し、6つに分類されたモジュールそれぞれで必要獲得ポイントを獲得した方の修了を認定しています。原則毎月1回の土曜午後開講の座学系セミナーは講義、実習、見学モジュールで構成。主にサイエンスコミュニケーションの知識を獲得し、サイエンスの意味を考えました。活動系セミナーは体験、実践モジュールから構成され、あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの各種活動に参加を指定する形式で提供。主にサイエンスコミュニケーションの活動の輪に参加する契機として活用いただき、あいちサイエンスフェスティバル2012（プレ企画/ポスト企画も含む）をみなで楽しみ、行動しました。年間を通じて、受講者のみなさんとともに、小規模かつ基本的な活動形式である「サイエンスカフェ」を実践できる基礎能力を養い、サイエンスを議論しサイエンスを介して交流する仲間の輪を広げました。

セミナーの修了基準

	モジュール名	必要獲得ポイント数	モジュールの目的	開講 / 提供テーマ	2011/2012 提供ポイント合計
座学系セミナー	講義S	1	サイエンスの知識を獲得 / 再確認する	別記参照	3
	講義C	2	サイエンスコミュニケーションの手法と課題を知る		10
	実習	2	サイエンスコミュニケーションの手法を獲得する		19
	見学	0	サイエンスの現場 / 実物に触れる		2
活動系セミナー	体験	2	サイエンスコミュニケーション活動の受容側の視点を獲得する	サイエンスカフェ体験、市民向け講演会体験	52
	実践	2	サイエンスコミュニケーションの実践能力を獲得する	サイエンスカフェ司会、サイエンスカフェ運営、サイエンスカフェ中継、講演会運営、講演会中継	98
	合計	10			184

2012年度 講義・実習・見学モジュール（座学系セミナー）

時期	日程	開講テーマ	講師 / 担当	開講場所	講分類
サイエンスフェスティバルを知る期間	6月30日(土) 1530-1700	世界のサイエンスフェスティバル	縣秀彦 (日本SC協会副会長 / 国立天文台准教授)	ジュンク堂書店ロフト名古屋店 (名古屋)	講義C
	7月28日(土) 1530-1700	今年のあいちサイエンスフェスティバル	藤吉隆雄 (名古屋大学特任助教)	ジュンク堂書店ロフト名古屋店 (名古屋)	講義C
	8月21日(火) 1830-2000	国際航空宇宙ショーが愛知県にやってくる!	宮修一 (日本航空宇宙工業会 国際部長)	ジュンク堂書店ロフト名古屋店 (名古屋)	講義S
特別プログラム	8月28日(火)～30日(木) 各日 1030-1615	サイエンスイラストレーション・サマースクール2012 in あいち	Jennifer E. Fairman (ジョンズ・ホプキンス大学医療アート専攻助教)	名古屋大学 (名古屋東山地区)	講義C×1 実習×8 講義C
	8月28日(火) 1030-1200	特別セミナー「サイエンスイラストレーション概論」			
ASF2012とJA2012を盛り上げる期間	9月22日(土) 1100-1300	国際空港を探検する! ～セントレア滑走路見学～	中部国際空港株式会社(株)	中部国際空港セントレア (常滑市)	見学
	10月8日(月・祝) 1400-1530	キュレーター円卓会議-アート・サイエンス・ミュージアムが連携することでうまれる未来-	杉森順子(愛知工科大学 准教授) ほか	蒲郡市生命の海科学館 (蒲郡市)	講義C
サイエンスとは何かを考える期間	12月1日(土) 1330-1430	愛知県の新しいサイエンスセンター「知の拠点」とは?	加藤英樹 (愛知県産業労働部)	あいち産業科学技術総合センター (豊田市)	講義S 見学
	12月1日(土) 1430-1530	「知の拠点」を見てみる! ～あいち産業科学技術総合センターとシンクロトロン光利用施設～	あいち産業科学技術総合センター		
	1月26日(土) 1530-1700	サイエンスコミュニケーションってなに?	川勝博 (名城大学 教授)	ジュンク堂書店ロフト名古屋店 (名古屋)	講義C
	2月2日(土) 1530-1700	サイエンスと産業の関係は?	武田稯 (名古屋大学 教授)	ジュンク堂書店ロフト名古屋店 (名古屋)	講義C/講義S
サイエンストークのやり方考える期間	2月9日(土) 1400-1450	サイエンストークを運営する	大住克史 (名古屋大学 URA)	ジュンク堂書店ロフト名古屋店 (名古屋)	講義C/実習 講義C/実習 実習
	2月9日(土) 1500-1550	サイエンストークを企画する	戸次真一郎 (名古屋大学 URA)		
	2月9日(土) 1600-1650	インターネット中継にチャレンジ	藤吉隆雄 (名古屋大学 特任助教)		

・「講義C×1、実習×8」のように記載の開講テーマ、受講完了によりすべてのポイントを獲得できる。
 ・「講義C/講義S」のように記載の開講テーマで獲得したポイントは、指定モジュールのいずれに充当するかを受講生が選択できる。

サイエンスイラストレーション企画

在米のサイエンスイラストレーター奈良島知行氏のコーディネートで、ジョンズ・ホプキンス大学医学部の大学院・医療アート専攻からジェニファー・エリザベス・フェアマン助教を招へいしました。8月28日から30日まで「サイエンスイラストレーション・サマースクール2012 in あいち」として3日間の短期コースを名古屋大学と名古屋造形大学の7プロジェクト等連携で開講。北米で標準化されている修士課程のファーストステップ「オブザベーション・ドローイング」に入門し、頭がい骨正面像に取り組みました。また、スクール初日1コマ目は「サイエンスイラストレーション概論」として定員を拡大して開放。最終日夜は対話イベント「さかえサイエンストーク」を開催しています。3回開催した企画展「サイエンスを絵で伝える」で北米サイエンスイラストレーション教授陣の作品を展示したほか、あいちサイエンスフェスティバル期間中には受講生作品展 (P16 参照) で学習の成果も発表しています。



8月には名古屋大学(東山地区)でサマースクール



8月30日は名古屋テレビ塔でさかえサイエンストーク



5月に造形大、8～9月に名大2会場で開催の企画展

サイエンスカフェの開催支援

サイエンストークをやる会

2011年10月に20回連続開催した「さえサイエンストーク」を楽しんだ参加者が「自分たちでもやってみたい」と自主的に結成したサークルです。2011年12月に第1回自主企画サイエンストークを開催。2012年は3回の自主企画を実施したほか、あいちサイエンスフェスティバルの運営を手伝っています。現在では、あいちサイエンスコミュニケーション・セミナーの受講者も徐々に合流しており、2013年もさまざまなゲストを呼んでの自主企画サイエンストークを計画しているとのこと。セミナーを1回でも受講した方はサークルに参加できますので、ぜひサイエンスコミュニケーションの輪に加わってください。自主企画を開催する時には、フェス事務局からサイエンスカフェ支援パッケージの貸し出しを受けられます。



7月9日には尼ヶ坂サロンで独自企画第2回を実施。ゲストは愛知淑徳大の天野成昭教授



フェス会期中の10月14日には梅村綾子氏をゲストに迎え、名駅5丁目のフルーヴカフェで開催



12月3日に開催した第4回企画「名古屋から考える被災地とメディア」のゲストは津田大介氏

サイエンストカフェ支援パッケージ

サイエンストーク活動の実践を通じて、サイエンスカフェ支援パッケージの開発を進めています。サイエンスカフェ運営キットとインターネット映像中継キットをそれぞれキャリーバッグ一つにコンパクト化。それぞれのキットを1名で運用できるため、最低2名のスタッフで3カメラ体制のインターネット中継を組み込んだサイエンスカフェを開催できます。スクリーンや投影可能な白壁がない会場では、ワンタッチ展開のスクリーン代用品キットが威力を発揮。スタンド2本で自立させるほか机上立て掛けでも使えます。サイエンスカフェ運営キットには、挙手をせずに参加者が意見表明できるクレジットカードサイズの電子投票システムも準備。センシティブな問題もサイエンスカフェで扱えます。



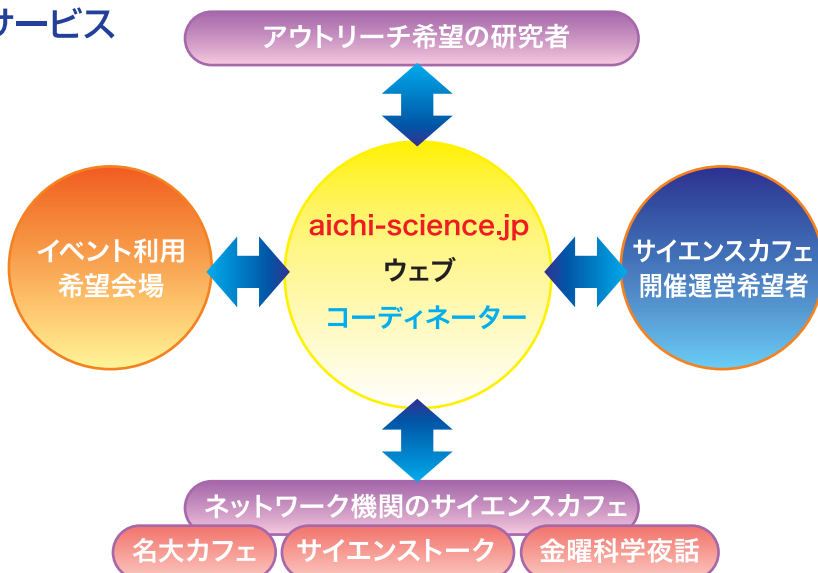
左がインターネット映像中継キット、右がサイエンスカフェ運営キット。右上はスクリーン代用品



サイエンストークでの独自テスト配信と講演会での業者配信でノウハウを機材とノウハウを蓄積中

サイエンスカフェ活動マッチング・サービス

あいちサイエンスフェスティバル事務局は、サイエンスカフェ活動へ参画したい方を支援しています。アウトリーチ活動の場を求めている研究者、みずからサイエンスカフェを開催・運営してみたい希望者、イベントの会場として活用を希望するカフェやサロンからのリクエストを受け付け。ネットワーク機関のサイエンスカフェ（名大カフェ、サイエンストーク、金曜科学夜話など）でのゲスト登場や運営参加、会場利用を調整しています。サイエンストークをやる会自主企画や、既存のサークル等が主催するサイエンスカフェ活動へも情報を提供。あいちサイエンスフェスティバル会期中には、名古屋でのサイエンスカフェ開催希望を持つ東京のサークル、サイエンスイベント受け入れ希望の新規開店カフェ、ゲスト候補研究者との3者マッチングも実施しました。



次年度の連携活動スケジュール

JSTからの3カ年度支援でスタートした「あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク」も2013年で3年目。支援事業最終年度には「あいちサイエンスフェスティバル」の開催システムの完成を目指します。通年のセミナー開講とサイエンストーク活動、自主サークル活動を基盤とし、2014年度以降のフェス継続開催を目指していきます。

あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー

サイエンスコミュニケーションの年間セミナーを開講。10ポイント獲得で修了を認定。シンクロトロンや実験航空機の見学会も予定。

サイエンストークをやってみる会活動

2011年フェスの一般参加者がつくったサークルにセミナー受講者が続々と合流中。サイエンストークだけではなくジャーナリズム勉強会も。

サイエンストーク活動

多頻度開催の仕組みができたサイエンストークを愛知県全域に広めます。開催希望の方や提供希望会場様はフェス事務局へご連絡ください。

4月28日～6月16日



あいち「国際植物の日」月間

国際植物の日は世界38カ国以上で同時開催。ネットワークでは2012年制定時から独自に月間として取り組み。4月10日までに aichi-science.jp に登録の情報で集合フライヤーを作成します。

6月2日～6月9日



ISTS29 連携企画
宇宙技術および科学の
国際シンポジウム

日本全国で隔年開催している英語発表シンポが名古屋で開催。名古屋大学が共催、愛知県が特別協力です。ネットワークも現地実行委員会と連携し宇宙関連研究のアウトリーチ活動に取り組みます。

4月公募開始～7月発表

メインビジュアルコンテスト

2013年フェスの広報フライヤーに活用するビジュアルを公募します。栄地区で入賞作品発表展を開催するほか、フェス会期中にグランプリ受賞者に受賞記念作品展会場を提供する予定です。

9月28日～11月3日



あいちサイエンスフェスティバル2013

3年目のフェスは3拠点化が目標です。名古屋市栄地区では週例中心企画とサイエンストーク。三河部会をはじめとした県下全域での参加企画とインターネット映像中継も継続。あなたも企画参加を。

■aichi-science.jp ウェブの整備

ウェブサイトは通年でサイエンスイベント告知にご利用いただけます。また、参加企画ひとつごとに申込フォーム機能、参加者管理機能、参加者宛一斉メール機能が自動設定されますので運営にご活用ください。20131 フェスは4月中旬に企画参加募集案内を発表します。これを受け、6月までに2013年版仕様のウェブを公開し操作説明を充実させる方針です。広報フライヤー作成支援機能がつかますので活用ください。

■サイエンスビジュアルライゼーションの紹介

今までサイエンスイラストレーションのサマースクールを2回、北米の教授陣作品展を4回開催するなど、サイエンスを絵で伝える技術を愛知県に紹介してきました。今年は教授陣の作品展を名古屋、小牧、豊橋などで開催予定。そのほかにも、サイエンス関連のテーマによるCGイラスト展、油絵展、掛け軸展などを調整中。メインビジュアルコンテストの入賞作品発表展とグランプリ受賞記念作品展もこの一環です。

■サイエンスコミュニケーション地域拠点との連携

あいちサイエンスフェスティバルは、今までに函館、東京、千葉、静岡、福岡の地域科学祭とコンテンツ交換により交流してきました。名古屋大学のフェス事務局と物質科学国際研究センターで連携し、フランスで公式作成されたマリー・キュリー業績ポスター展キットを活用。全国の地域拠点（科学館、資料館、公民館等）や学校からの出展希望を受け付けています。また、全国から愛知へのフェス企画参加もご検討ください。

■ロングテール型サイエンスコミュニケーション・モデルの開発

フェス事務局ではネットワーク中心企画、サイエンストーク、セミナーでのインターネット映像中継にとりくんでいます。30名規模のイベント用にサイエンスカフェ支援パッケージ（P37参照）を準備。それ以上の規模の活動でも支援できる体制を整備中です。リアル活動とネット中継に加えて、中継を受信するサテライト会場（P7参照）も充実させていきます。サテライト設置や視聴イベント希望をお寄せください。

愛知県でサイエンス・コミュニケーション活動の輪を広げましょう

皆様のご協力をもって2011年にスタートしたあいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークも運営2年目になりました。10月のあいちサイエンスフェスティバルだけではなく、5月には「国際植物の日」月間、6月にはノーベル賞企画連携、8月にはサイエンスイラストレーション企画により連携を推進しました。新たな連携活動を行うにつれて仲間も増えており、本年度末で15実施機関となりました。次年度には新たな機関も輪に入っただけそうです。

今年度のフェスは、29年ぶりに飛行場開催となる国際航空宇宙展 JAPAN AEROSPACE2012 との連携で開催しました。世界有数の航空宇宙産業の集積地である愛知県ならではの試みはいかがでしたでしょうか。

愛知県内全域をサイエンスを介した議論と交流の場といたしましょう。ネットワーク15機関だけではなく、すべての愛知県民が参加できる活動を目指します。これからのネットワークにもご協力をお願い申し上げます。

あいちサイエンスフェスティバル運営責任者
あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク
(JST平成24年度科学技術コミュニケーション推進事業「ネットワーク形成地域型」)
提案機関業務副担当者・運営機関業務担当者
名古屋大学 産学官連携推進本部連携推進部長・教授 武田 穰

平成23年度決算案

区分	費目	種別	当初契約予算額(円)	変更契約予算額(円)	決算額(円)	備考	
支出	工器器具備品費		0	0	0		
		人件費	業務担当職員	5,100,000	5,100,000	5,100,000	運営機関コーディネーター
			補助者	0	0	0	
			社会保険料等事業主負担分	662,099	688,174	688,174	
		計	5,762,099	5,788,174	5,788,174		
	業務実施費	消耗品費		0	55,300	55,842	サイエンスカフェ支援パッケージ部品、企画展材料等
		国内旅費		391,560	552,610	500,790	委員、活動時ゲスト等
		諸謝金		80,000	147,000	147,000	外部評価委員、逐次通訳等
		印刷製本費		840,636	248,010	248,010	広報チラシ、報告書等
		雑役務費		2,292,121	2,568,858	2,620,136	ウェブ開発、デザイン・DTP、ネット中継、講演会場運営等
		借損料		273,480	269,330	269,330	ウェブサーバ、会議会場、機材レンタル等
		通信運搬料		72,000	81,310	81,310	宅配便、メール便等
		会議開催費		0	0	0	
		消費税相当額		288,104	289,408	289,408	人件費に係る消費税相当額
			計	4,237,901	4,211,826	4,211,826	
一般管理費		1,000,000	1,000,000	1,000,000	コーディネーター交通費、事務局消耗品、ウェブ追加開発、報告書印刷等		
合計		11,000,000	11,000,000	11,000,000			
収入	JST 支援費	人件費	5,762,099	5,788,174	5,788,174		
		業務実施費	4,237,901	4,211,826	4,211,826		
		一般管理費	1,000,000	1,000,000	1,000,000		
	その他		0	0	0		
	合計		11,000,000	11,000,000	11,000,000		

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会



第3回実行委員会の出席委員と陪席出席者

- 2012年4月27日：第1回実行委員会（於：名古屋大学）
- 2012年7月24日：第1回運営委員会（於：名古屋大学）
- 2012年8月28日：第2回実行委員会（於：名古屋大学）
- 2012年9月26日：三河部会運営委員会（於：蒲郡市生命の海科学館）
- 2013年2月28日：外部評価委員会（於：NPO法人くらしとバイオプラザ21 / 東京）
- 2013年3月7日：第3回実行委員会（於：名古屋大学）

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク

独立行政法人科学技術振興機構（JST）平成 24 年度科学技術コミュニケーション推進事業
「ネットワーク形成地域型」

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの構築

実行委員	松尾清一	国立大学法人名古屋大学	副総長 産学官連携推進本部長 社会貢献人材育成本部長 医学部附属病院長	提案機関連務主担当者 / 委員
実行委員 / 運営委員	武田穰	国立大学法人名古屋大学	産学官連携推進本部連携推進部長 社会貢献人材育成本部副本部長・教授	提案機関連務副担当者 / 運営機関連務担当者 / 委員
実行委員	加藤英樹	愛知県	産業労働部産業科学技術課・課長補佐	連携自治体委員
実行委員 / 運営委員	斎藤光生	愛知県	産業労働部産業科学技術課・主事	連携自治体担当者 / 委員
実行委員 / 運営委員	川勝博	学校法人名城大学	総合数理教育センター長・教授	参加機関連務担当者 / 委員
実行委員	中野裕美	国立大学法人豊橋技術科学大学	学長補佐・准教授	参加機関連務
実行委員（～ 2012.05）	横山清子	公立大学法人名古屋市立大学	学長補佐・芸術工学研究科教授	参加機関連務
実行委員（2012.06～）	水野みか子	公立大学法人名古屋市立大学	学長補佐・芸術工学研究科教授	参加機関連務
実行委員	尾坂知江子	名古屋科学館	学芸課学芸係・主任学芸員	参加機関連務担当者 / 委員
実行委員	黒邊雅実	名古屋市東山動植物園	動物園 教育普及主幹	参加機関連務担当者 / 委員
実行委員	堀江和臣	名古屋市東山動植物園	植物園 指導園芸係長	参加機関連務担当者 / 委員
実行委員	山中敦子	蒲都市生命の海科学館	学芸員	参加機関連務担当者 / 委員
実行委員	長谷川道明	豊橋市自然史博物館	学芸専門員	参加機関連務担当者 / 委員
実行委員	高野智	財団法人日本モンキーセンター	附属博物館世界サル類動物園・主任学芸員	参加機関連務担当者 / 委員
実行委員	木村雅人	トヨタテクノミュージアム産業技術記念館	学芸企画グループリーダー	参加機関連務担当者 / 委員
実行委員	足立ゆうじ	学校法人同朋学園 名古屋造形大学	イラストレーションデザインコース専任講師	参加機関連務担当者 / 委員
実行委員	石川隆司	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 名古屋空港飛行研究拠点	研究開発本部 参与	参加機関連務
実行委員	倉田智子	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 基礎生物学研究所	広報室 特任助教	参加機関連務担当者 / 委員
実行委員	杉森順子	学校法人電波学園 愛知工科大学	工学部情報メディア学科 准教授	参加機関連務担当者 / 委員
実行委員 / 運営委員	藤吉隆雄	国立大学法人名古屋大学	産学官連携推進本部 特任助教	運営機関連務コーディネーター / 委員
実行委員 / 運営委員	戸次真一郎	国立大学法人名古屋大学	リサーチ・アドミニストレーション室 リサーチ・アドミニストレーター	運営機関連務
	三輪昭彦	国立大学法人豊橋技術科学大学	総務課 地域連携係	参加機関連務担当者
	辻頭暢	公立大学法人名古屋市立大学	事務局 学術課	参加機関連務担当者
	並木貴宏	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 名古屋空港飛行研究拠点	研究開発本部航空プログラムグループ 広報担当	参加機関連務担当者
	富田博明	国立大学法人名古屋大学	研究協力部 社会連携課長	運営機関連務責任者
	片岡憲治	国立大学法人名古屋大学	研究協力部 社会連携課 社会連携掛長	運営機関連務担当者
	相田曉彦	国立大学法人名古屋大学	研究協力部 社会連携課 社会連携掛	運営機関連務担当者
事務局機能支援	大住克史	国立大学法人名古屋大学	リサーチ・アドミニストレーション室 リサーチ・アドミニストレーター	運営機関連務参加者
事務局機能支援	宇治原妃美子	国立大学法人名古屋大学	リサーチ・アドミニストレーション室 事務補佐員	運営機関連務参加者

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク外部評価委員会

外部評価委員	高田邦昭	国立大学法人群馬大学	学長	
外部評価委員	福水健文	日本アルコール販売株式会社	顧問	(独立行政法人新エネルギー・産業技術開発機構 元副理事長 / 中小企業庁 元長官)
外部評価委員	縣秀彦	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台	天文情報センター 准教授	(第 4 回東京国際科学フェスティバル実行委員長 / 日本サイエンスコミュニケーション協会副会長)
外部評価委員	佐々義子	NPO 法人くらしとバイオプラザ 21	常務理事	

あいちサイエンスフェスティバル 2012 実施報告書

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク平成 24 年度事業報告書

発行：2012 年 3 月 15 日

発行責任者	武田穰	国立大学法人名古屋大学
編集	藤吉隆雄	国立大学法人名古屋大学
デザイン・DTP	松場宏忠	MTB Design
印刷		ニコロアイエム株式会社